

**★当ファンドの仕組みは次の通りです。**

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	主として、マザーファンドを通じて内外の公社債、不動産投資信託証券および株式に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券
	ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	内外の公社債等
	ダイワ日本国債マザーファンド	わが国の公社債
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
	ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）
組入制限	ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
	ダイワ日本国債マザーファンドの株式組入上限比率	
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドの投資信託証券組入上限比率	
	ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
	ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざして分配金額を決定します。なお、3月と9月の計算期末について、基準価額の水準等によっては、今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮して売買益（評価益を含みます。）等を中心に分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配を行ないます。ただし、基準価額の水準等によっては売買益（評価益を含みます。）等を中心に分配する場合があります。また、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# 6 資産バランスファンド (分配型／成長型) (愛称：ダブルウイング)

## 運用報告書 (全体版)

分配型	第109期 (決算日 2015年4月6日)
	第110期 (決算日 2015年5月7日)
	第111期 (決算日 2015年6月8日)
	第112期 (決算日 2015年7月6日)
	第113期 (決算日 2015年8月6日)
成長型	第114期 (決算日 2015年9月7日)
	第19期 (決算日 2015年9月7日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「6 資産バランスファンド (分配型／成長型) (愛称：ダブルウイング)」は、さる9月7日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願ひ申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

T E L 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3059>

<3060>

## 6資産バランスファンド（分配型）

### ★6資産バランスファンド（分配型）

#### 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			合成指數 (参考指數)	中期騰落率	株式組入比率	株式先物比率	公社債組入比率	債券先物比率	投資信託券組入比率	純資産額
	(分配額)	税込分配金	期騰落率								
85期末(2013年4月8日)	8,514	円30	%8.1	11,857	%7.6	%19.5	%-	%57.4	%-	%19.8	百万円8,250
86期末(2013年5月7日)	8,629	30	1.7	12,187	2.8	19.8	-	57.2	-	19.6	8,122
87期末(2013年6月6日)	8,145	30	△5.3	11,597	△4.8	19.1	-	58.8	-	18.0	7,493
88期末(2013年7月8日)	8,129	30	0.2	11,739	1.2	19.3	-	57.7	-	18.9	7,397
89期末(2013年8月6日)	8,055	30	△0.5	11,735	△0.0	19.5	-	57.8	-	18.8	7,253
90期末(2013年9月6日)	7,913	30	△1.4	11,597	△1.2	19.3	-	56.9	-	18.9	7,074
91期末(2013年10月7日)	8,041	30	2.0	11,796	1.7	19.0	-	57.8	-	19.2	7,118
92期末(2013年11月6日)	8,180	30	2.1	12,071	2.3	19.3	-	55.6	-	19.0	7,181
93期末(2013年12月6日)	8,321	30	2.1	12,373	2.5	19.1	-	56.8	-	19.3	7,138
94期末(2014年1月6日)	8,548	30	3.1	12,746	3.0	19.3	-	56.6	-	19.5	7,023
95期末(2014年2月6日)	8,248	30	△3.2	12,341	△3.2	18.0	-	56.8	-	19.2	6,711
96期末(2014年3月6日)	8,497	30	3.4	12,803	3.7	19.3	-	54.7	-	19.3	6,877
97期末(2014年4月7日)	8,505	30	0.4	12,891	0.7	19.1	-	57.8	-	19.4	6,772
98期末(2014年5月7日)	8,463	30	△0.1	12,855	△0.3	18.5	-	54.6	-	19.5	6,686
99期末(2014年6月6日)	8,603	30	2.0	13,110	2.0	19.2	-	56.2	-	19.5	6,639
100期末(2014年7月7日)	8,667	30	1.1	13,233	0.9	19.1	-	57.1	-	19.2	6,592
101期末(2014年8月6日)	8,597	30	△0.5	13,222	△0.1	18.6	-	55.9	-	19.2	6,444
102期末(2014年9月8日)	8,827	30	3.0	13,554	2.5	19.1	-	56.7	-	19.2	6,552
103期末(2014年10月6日)	8,837	30	0.5	13,716	1.2	18.8	-	55.4	-	19.4	6,439
104期末(2014年11月6日)	9,168	30	4.1	14,390	4.9	19.4	-	56.5	-	19.2	6,590
105期末(2014年12月8日)	9,728	30	6.4	15,304	6.4	19.7	-	55.2	-	19.4	6,796
106期末(2015年1月6日)	9,542	30	△1.6	15,067	△1.6	18.5	-	57.4	-	19.6	6,562
107期末(2015年2月6日)	9,535	30	0.2	15,068	0.0	18.8	-	56.7	-	19.5	6,508
108期末(2015年3月6日)	9,590	30	0.9	15,206	0.9	19.6	-	55.1	-	19.3	6,497
109期末(2015年4月6日)	9,562	30	0.0	15,218	0.1	19.0	-	58.4	-	19.3	6,408
110期末(2015年5月7日)	9,409	30	△1.3	15,100	△0.8	19.1	-	57.9	-	19.1	6,269
111期末(2015年6月8日)	9,578	30	2.1	15,510	2.7	19.4	-	57.5	-	19.0	6,311
112期末(2015年7月6日)	9,293	30	△2.7	15,140	△2.4	19.0	-	56.4	0.7	19.2	5,996
113期末(2015年8月6日)	9,513	30	2.7	15,495	2.3	19.3	-	54.6	△1.4	19.2	6,098
114期末(2015年9月7日)	8,806	30	△7.1	14,395	△7.1	18.2	-	59.0	△3.4	18.4	5,616

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 合成指數は、下記の指數と配分比率をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。海外の指數は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資対象資産	指 数	配 分 比 率
海外債券	シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）	50%
国内債券	ダイワ・ボンド・インデックス国債指數	10%
海外リート	S & P 先進国REIT指數（除く日本、円換算）	10%
国内リート	東証REIT指數（配当込み）	10%
海外株式	MSCIコクサイ指數（円換算）	10%
国内株式	TOPIX	10%

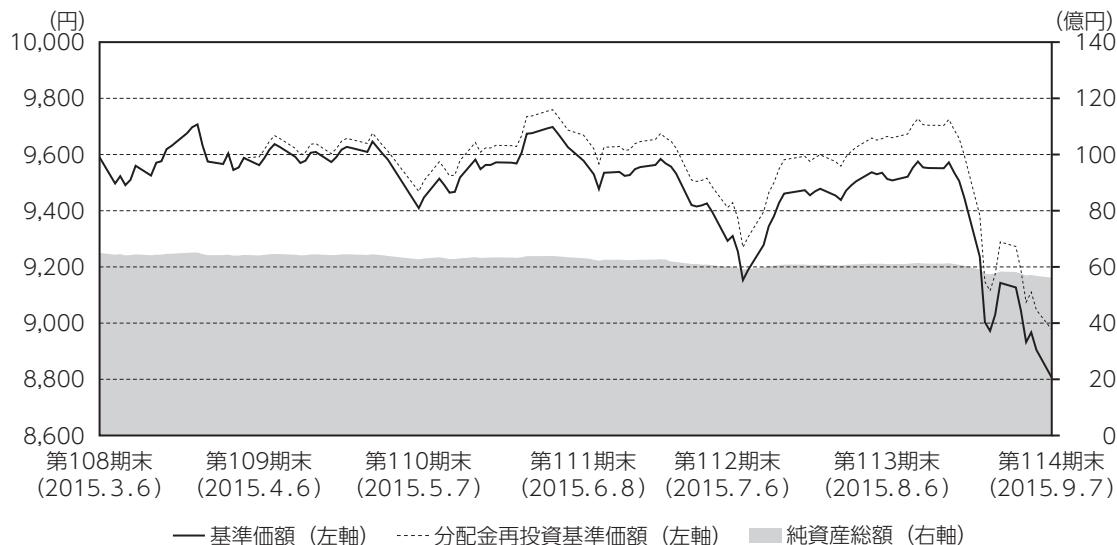
(注3) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客様の損益の状況を示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客様が利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

### ■基準価額・騰落率

第109期末：9,590円

第114期末：8,806円（既払分配金180円）

騰 落 率：△6.4%（分配金再投資ベース）

### ■組入ファンドの当座成期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ・外債ソプリン・マザーファンド	△5.1%
ダイワ日本国債マザーファンド	0.5%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	△10.1%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	△15.6%
ダイワ外国ハイモニーストック・マザーファンド	△7.2%
ダイワ日本ハイモニーストック・マザーファンド	△0.3%

### ■基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資した結果、主に海外債券市況や国内外のリート市況および海外株式市況が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

## 6資産バランスファンド（分配型）

	年月日	基準価額		合成指數		株組入比率	株先物比率	公社入比率	債先物比率	投資信託券率	投証組入比率
		(参考指數)	騰落率	(参考指數)	騰落率						
第109期	(期首)2015年3月6日	円 9,590	% —	15,206	% —	19.6	% —	55.1	% —	% —	19.3
	3月末	9,604	0.1	15,215	0.1	19.1	—	57.2	—	—	19.4
	(期末)2015年4月6日	9,592	0.0	15,218	0.1	19.0	—	58.4	—	—	19.3
第110期	(期首)2015年4月6日	9,562	—	15,218	—	19.0	—	58.4	—	—	19.3
	4月末	9,602	0.4	15,264	0.3	18.8	—	56.8	—	—	19.2
	(期末)2015年5月7日	9,439	△1.3	15,100	△0.8	19.1	—	57.9	—	—	19.1
第111期	(期首)2015年5月7日	9,409	—	15,100	—	19.1	—	57.9	—	—	19.1
	5月末	9,676	2.8	15,581	3.2	19.1	—	58.1	—	—	19.3
	(期末)2015年6月8日	9,608	2.1	15,510	2.7	19.4	—	57.5	—	—	19.0
第112期	(期首)2015年6月8日	9,578	—	15,510	—	19.4	—	57.5	—	—	19.0
	6月末	9,415	△1.7	15,206	△2.0	19.1	—	56.9	—	—	19.3
	(期末)2015年7月6日	9,323	△2.7	15,140	△2.4	19.0	—	56.4	0.7	—	19.2
第113期	(期首)2015年7月6日	9,293	—	15,140	—	19.0	—	56.4	0.7	—	19.2
	7月末	9,505	2.3	15,444	2.0	19.3	—	56.6	△3.6	—	19.2
	(期末)2015年8月6日	9,543	2.7	15,495	2.3	19.3	—	54.6	△1.4	—	19.2
第114期	(期首)2015年8月6日	9,513	—	15,495	—	19.3	—	54.6	△1.4	—	19.2
	8月末	9,127	△4.1	14,867	△4.1	18.6	—	58.4	△4.2	—	18.8
	(期末)2015年9月7日	8,836	△7.1	14,395	△7.1	18.2	—	59.0	△3.4	—	18.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○海外債券市況

海外債券市況は、第109期首より、E C B（欧州中央銀行）が量的金融緩和を開始したこと、F O M C（米国連邦公開市場委員会）を受けて米国の利上げが遠のいたとの見方が強まることにより、欧米の金利は低下傾向で推移しました。しかし2015年4月末からは、ユーロ圏の金利が大きく上昇に転じ、欧米の金融政策当局者が市場変動の高まりに容認姿勢を示したこともあり、米国の金利もこの動きに連れて上昇しました。6月以降は、欧州でのギリシャ支援問題の混迷や中国株の急落を受けて一時的に安全資産への需要が高まり金利低下するなど、金利は上下に振れ幅の大きい展開となりました。7月以降は原油価格が再び下落に転じたほか、中国や新興国経済への懸念も強まり、カナダやノルウェーなどの資源国の金利が低下し、米国の金利も4月以降の金利上昇幅を縮小する展開となりました。

### ○国内債券市況

国内債券市況は、日銀が金融政策を据え置く中、2015年3月末にかけて、国内長期金利は比較的広いレンジ内で不安定に推移しました。4月に入るといったん低下したものの、5月以降は、欧米長期金利の上昇に連れて一段とレンジを切上げた後、不安定に推移しました。7月上旬以降は、欧米長期金利が落ち着きを取り戻したことから、緩やかに低下しました。

### ○海外リート市況

海外リート市況は、米国では、2015年1－3月期G D P（国内総生産）成長率は低調な伸びにとどまったものの、景気減速は冬場の寒波の影響による一時的なものとの見方を背景に年内の利上げ観測が強まり、長期国債利回りが上昇したことが嫌気され、2015年4月から6月にかけてリート市況は下落しました。その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が年内の利上げやその後の慎重なペースでの利上げを示唆することで金融政策に対する安心感が広がり、市況は上昇に転じました。しかし8月に入り、中国経済の減速に対する懸念が急速に強まり、世界的に株式市況が大幅に下落したため米国リート市況も第114期末にかけて急落しました。米国以外の国・地域についても、金融緩和など景気支援策を打ち出しているにもかかわらず、中国の景気減速に歯止めがかからないことが欧州やアジア経済の先行きに対する警戒を強め、市況は第114期末にかけて下げ足を速めました。英国については、好調なロンドンの不動産市場を背景に主要リートの業績が堅調なものになったことが支援材料となり、小幅の下落にとどまりました。

### ○国内リート市況

国内リート市況は、おおむね横ばい圏で始まりました。オフィス・ビル空室率の低下や実物不動産取引の活発化などファンダメンタルズの改善傾向は好感された一方、国内リート各社によるエクイティ・ファイナンスが需給面での重しとなりました。2015年7月に入ると、ギリシャのデフォルト（債務不履行）リスクや中国の株式市況の調整などを受けて先行き不透明感が強まり、国内リート市況は大きく下落しました。その後は一時的に落ち着きを取り戻しましたが、8月後半から第114期末にかけて再び調整局面を迎えるました。

## 6 資産バランスファンド（分配型）

### ○海外株式市況

海外株式市況は、米国の早期利上げ観測と米ドル高による米国企業の業績に対する警戒感などから、下落してのスタートとなりました。その後は、欧州の景気回復に対する期待感やE C Bの国債購入開始、米国の早期利上げ懸念の後退、世界的な企業買収や事業再編など、世界的に良好な投資環境を背景に上昇基調に転じました。中国における香港・上海間の相互株式取引などを追い風に香港市場が上昇したことも、海外株式市場を下支えする要因になりました。しかし2015年6月に入ると、ギリシャの債務問題の行方をめぐり値動きの荒い展開となり、7月上旬にかけてギリシャのデフォルトリスクが高まったことから大きく下落しました。その後は、ギリシャ問題がひとまず落ち着いたことや好調な米国企業決算などから急速に値を戻したものの、米国の9月利上げに対する警戒感が高まる中で中国が人民元の切下げを発表したことや中国株の急落などを受けてリスク回避の動きが一気に高まり、海外株式市況は大きく値を下げて第114期末を迎えるました。

### ○国内株式市況

国内株式市況は、第109期首より、E C Bによる量的金融緩和の導入や国内景気の持ち直し、良好な株式需給関係、円安の進行などを受けて、株価は大きく上昇しました。2015年6月からは、ギリシャ支援協議の難航によりギリシャのデフォルト懸念が一時高まることや中国株の急落を受け中国経済への不安が高まること、さらには世界経済減速懸念も台頭したことから日本株も一時急落するなど、不安定な推移となりました。

### ○為替相場

為替相場は、第109期首より、米ドルが対円で横ばい推移となる一方、物価低迷から量的金融緩和の導入決定に至ったユーロは対円で下落しました。また、原油価格の底打ちにより、それまで売られていたオーストラリア・ドルやカナダ・ドルなどの資源国の通貨も、対円で反発傾向となりました。2015年4月末からは、欧米金利が上昇して日本との金利差が拡大するとの観測から、欧州通貨や米ドルが対円で上昇しました。6月にギリシャ支援問題が混迷すると、市場のリスク回避傾向が強まって対米ドルの円安傾向が頭打ちとなり、またユーロは対円で下落しました。8月以降は、中国の人民元切下げをきっかけに中国景気減速への懸念が強まり、さらに一時は中国株安が世界的に波及するなど市場のリスク回避度が強まり、円高に推移しました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行ないます。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行ないます。

- ・ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド ..... 純資産総額の50%
- ・ダイワ日本国債マザーファンド ..... 純資産総額の10%
- ・ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンド ..... 純資産総額の10%
- ・ダイワJ－R E I T アクティブ・マザーファンド ..... 純資産総額の10%
- ・ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド ..... 純資産総額の10%
- ・ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド ..... 純資産総額の10%

## ○ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

債券は、取得時に信用格付A格相当以上の海外の国債を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、各国の市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて変動させます。通貨の投資割合は各通貨の市場動向、信用力や経済環境の評価に応じて変動させます。ドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度ずつとし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度とします。

## ○ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、作成期間を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行なってまいります。

## ○ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、コーエン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク（以下、C & S）に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。銘柄選択に際しては、良好な財務体質を有し、低コストでの資金調達により物件取得や事業拡大を図ることが可能であり、かつ保有不動産の価値と比較して価格が割安なリートを選好します。用途別では、米国では住宅施設やオフィスを保有するリート、欧州ではロンドンのオフィスや商業施設に加えてユーロ圏の商業施設、パリなど主要都市のオフィスを保有するリートに注目しています。

## ○ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行ない、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。ポートフォリオ戦略については、個別銘柄ごとのバリュエーション格差が徐々に縮小していることに鑑み、各種バリュエーション指標での割安度よりも、経営戦略や業績の変化などを重視した銘柄選別を行なっていく方針です。また、相対的に景気敏感なオフィス・セクターや、訪日観光客の増加などテーマ性のあるホテル・セクターにも注目します。

## ○ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド

海外株式の中から、持続可能なより良い社会への企業の取組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資します。米国は堅調な景気拡大が継続しており、欧州は中央銀行による量的金融緩和策や対米ドルでの通貨安期待など株式市場にとって良好な投資環境が持続すると考えております。企業業績や株価バリュエーションなどを精査しつつ、個別銘柄の選別投資を行なう方針です。

## ○ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド

国内株式市況は、国内外の金融緩和や円安進行、安倍政権の政策、国内企業の業績回復、株主還元強化への期待などが引き続き株価の押し上げ要因になると想定しており、株式組入比率は90%程度以上の高位を維持する方針です。銘柄の選定にあたっては、日本総研が行なう企業の「社会的責任」に関する調査を参考に、持続可能なより良い社会への企業の取組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄を選定します。

### ポートフォリオについて

#### ○当ファンド

各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行ないました。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、以下の標準組入比率をめどに投資を行ないました。

- ・ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド .....純資産総額の50%
- ・ダイワ日本国債マザーファンド .....純資産総額の10%
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド .....純資産総額の10%
- ・ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド .....純資産総額の10%
- ・ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド .....純資産総額の10%
- ・ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド .....純資産総額の10%

#### ○ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

債券は、海外の国債を中心に投資する一方、政府保証債や国際機関債にも投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で変動させました。地政学リスクの高まりや各国の金融緩和政策が材料視されるなどして金利が低下するとの見通しが強まった局面では、デュレーションを長期化しました。一方で、米国の利上げ観測が材料視されるなど金利が上昇するとの見通しが強まった局面では、当該通貨のデュレーションを短期化しました。通貨の投資割合は、ドル通貨圏、欧洲通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧洲通貨圏内ではユーロを50%程度としつつ、実質外貨比率を高位に保ちました。各通貨の市場動向、信用力や経済環境の評価に応じて、投資割合を変動させました。

#### ○ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、当分成期間を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ないました。

#### ○ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。当ファンドでは、信託財産の中長期的な成長をめざし保有不動産の価値などと比べて魅力的であると考える銘柄に着目するとともに、安定的な配当利回りの確保をめざしてポートフォリオを構築しました。国・地域別配分では大きなリスクを取らず各地域にバランス良く投資を行ないましたが、ECBによる追加金融緩和を受けて堅調に推移したフランスの商業施設リートなどの組入れを引下げ、ユーロ圏のオーバーウエート幅を縮小しました。また、リート価格が堅調に推移し割安感が後退したロンドンにオフィスを保有するリートなどを一部売却し、英国をニュートラル程度に引下げました。一方、リート価格の下落により割安感が高まった商業施設大手リートなどを買い増しし、米国をニュートラル程度に引

上げました。

### ○ダイワJ－REITアクティブ・マザーファンド

投資信託証券の組入比率につきましては、通常の状態で信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、当期間を通じておおむね96～98%台程度で推移させました。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。個別銘柄では、インベスコ・オフィス・ジェイリート、インヴィンシブル、ジャパン・ホテル・リートなどを東証REIT指数と比較してオーバーウエートとし、日本リテールファンド、日本ビルファンド、アドバンス・レジデンス等をアンダーウエートとしました。

### ○ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド

株式組入比率は、米国の堅調な景気や欧州の量的金融緩和策導入による投資環境の好転と景気回復期待などから、おおむね90%程度以上の高位を維持しました。個別銘柄では、業績見通しや株価バリュエーション等を総合的に勘案して、CVS HEALTH CORP、MANPOWERGROUP IN、UNITEDHEALTH GRP、MOHAWK INDs（すべて米国）などを上位組入れとしました。

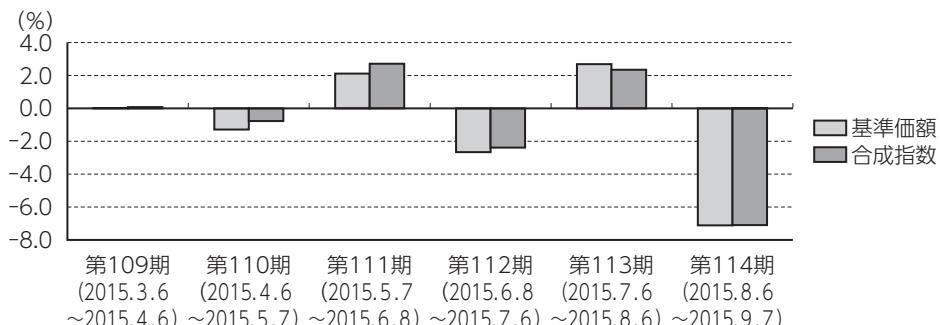
### ○ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド

株式組入比率は、円安・原油安を背景にした内需関連企業の業績の回復期待などから、当期間を通して95%以上で推移させました。業種構成は、情報・通信業、小売業、建設業などの比率を引上げた一方で、化学、電気機器、輸送用機器などの比率を引下げました。個別銘柄では、業績見通しや株価指標などを総合的に勘案して日本電信電話、セブン&アイ・HDGS、日立物流などを新規に組入れました。一方、日産自動車、三菱ケミカルHDGS、東京瓦斯などを全部売却しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指標との騰落率の対比です。



## 分配金について

第109期から第114期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ30円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2015年3月7日 ～2015年4月6日	2015年4月7日 ～2015年5月7日	2015年5月8日 ～2015年6月8日	2015年6月9日 ～2015年7月6日	2015年7月7日 ～2015年8月6日	2015年8月7日 ～2015年9月7日
当期分配金（税込み）(円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.31	0.32	0.31	0.32	0.31	0.34
当期の収益(円)	14	9	20	8	15	8
当期の収益以外(円)	15	20	9	21	14	21
翌期繰越分配対象額(円)	308	288	278	256	241	220

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(a) 経費控除後の配当等収益	14.60円	9.62円	20.12円	8.02円	15.43円	8.58円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	323.83	308.48	288.14	278.28	256.32	241.79
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	338.44	318.11	308.27	286.31	271.75	250.37
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	308.44	288.11	278.27	256.31	241.75	220.37

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行ないます。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行ないます。

- ・ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド ..... 純資産総額の50%
- ・ダイワ日本国債マザーファンド ..... 純資産総額の10%
- ・ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンド ..... 純資産総額の10%
- ・ダイワJ－R E I T アクティブ・マザーファンド ..... 純資産総額の10%
- ・ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド ..... 純資産総額の10%
- ・ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド ..... 純資産総額の10%

## ○ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

債券は、取得時に信用格付A格相当以上の海外の国債を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、各国の市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて変動させます。通貨の投資割合は各通貨の市場動向、信用力や経済環境の評価に応じて変動させます。ドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度とします。

## ○ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、作成期間を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行なってまいります。

## ○ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。銘柄選択に際しては、良好な財務体質を有し、低成本での資金調達により物件取得や事業拡大を図ることが可能であり、かつ保有不動産の価値と比較して価格が割安なリートを選好します。用途別では、米国では個人用倉庫や住宅施設を保有するリート、欧州ではロンドンのオフィスや商業施設、競争力の高い大規模な優良商業施設を保有するユーロ圏のリートに加えて、景気の持ち直しを背景に賃料上昇や空室率の改善が期待されるスペインやイタリアのリートにも注目しています。

## ○ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行ない、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。現状の個別銘柄ごとのバリュエーション格差は過去と比較して大きないと判断していることから、ポートフォリオ戦略については、各種バリュエーション指標での割安度よりも、経営戦略や業績の変化等を重視した銘柄選別を行なっていく方針です。また、相対的に景気敏感なオフィス・セクターや、訪日観光客の増加などテーマ性のあるホテル・セクターにも注目しています。

## ○ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド

海外株式の中から、持続可能なより良い社会への企業の取り組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資します。株式市場は短期的に、中国の成長に対する懸念、新興国通貨の下落、軟調な商品市況など不安要素をめぐり値動きの荒い展開が予想されます。しかし、米国は堅調な景気拡大が継続していること、欧州経済に対する回復期待の高まり、日欧の中央銀行による量的金融緩和策を通じた通貨安期待などプラス要因に対する見方に変化はなく、中長期的には株式市場にとって良好な投資環境が持続すると考えております。企業業績や株価バリュエーション等を精査しつつ、個別銘柄の選別投資を行なう方針です。

## ○ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド

日本総研が行なう企業の「社会的責任」に関する調査を参考に、持続可能なより良い社会への企業の取組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄を選定します。また、株価水準、流動性、分散なども考慮します。

## 6 資産バランスファンド（分配型）

### 1万口当りの費用の明細

項目	第109期～第114期 (2015.3.7～2015.9.7)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	66円	0.698%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,491円です。
(投信会社)	(32)	(0.342)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(31)	(0.328)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0.034	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.021)	
(先物)	(0)	(0.003)	
(投資信託証券)	(1)	(0.010)	
有価証券取引税	1	0.009	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.008)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
その他費用	2	0.026	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	73	0.767	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■売買および取引の状況

### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

決算期	第109期～第114期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
ダイワ日本国債マザーファンド	11,913	21,000	118,961	209,000
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	6,584	8,000	50,238	61,000
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	1,482	3,000	27,273	56,000
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	6,391	14,000	15,283	35,000
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド	980	1,000	121,844	133,000
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド	7,350	14,000	50,756	98,000

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

項目	第109期～第114期
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	2,633,499千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,258,559千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	1.16
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,950,483千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,279,448千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	1.73

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況

### (1) ベビーファンドにおける当成期間中の利害関係人との取引状況

当成期間（第109期～第114期）中における利害関係人との取引はありません。

### (2) ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドにおける当成期間中の利害関係人との取引状況

当成期間（第109期～第114期）中における利害関係人との取引はありません。

## (3) ダイワ日本国債マザーファンドにおける当成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

決算期	第109期～第114期				
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	
公社債	百万円 57,107	百万円 2,229	% 3.9	百万円 13,596	% —
コール・ローン	203,329	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

### (4) ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドにおける当成期間中の利害関係人との取引状況

当成期間（第109期～第114期）中における利害関係人との取引はありません。

### (5) ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドにおける当成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

決算期	第109期～第114期				
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	
投資信託証券	百万円 21,314	百万円 7,192	% 33.7	百万円 6,508	% 1,375
コール・ローン	206,483	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.9%

### (6) ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンドにおける当成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

決算期	第109期～第114期				
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	
株式	百万円 1,107	百万円 106	% 9.6	百万円 1,526	% 210
コール・ローン	10,674	—	—	—	—

(注) 平均保有割合26.0%

## 6 資産バランスファンド（分配型）

### (7) ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第109期～第114期）中における利害関係人との取引はありません。

### (8) 利害関係人の発行する有価証券等

（2015年3月7日から2015年9月7日まで）

種類	第109期～第114期		
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド		
	買付額	売付額	第114期末保有額
投資信託証券	百万円 440	百万円 －	百万円 1,602

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）単位未満は切捨て。

### (9) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

（2015年3月7日から2015年9月7日まで）

種類	第109期末～第114期末	
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	
	買付額	
投資信託証券	百万円 1,997	

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）単位未満は切捨て。

### (10) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

（2015年3月7日から2015年9月7日まで）

項目	目	第109期～第114期
売買委託手数料総額（A）		2,168千円
うち利害関係人への支払額（B）		161千円
（B）/（A）		7.4%

（注）売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、日の出証券、大和証券、大和証券オフィス投資法人です。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種類	類	第108期末	第114期末	
		口数	口数	評価額
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド		1,808,533	1,701,485	2,860,537
ダイワ日本国債マザーファンド		527,999	484,346	591,338
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド		314,054	288,263	532,422
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド		279,584	270,692	522,733
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド		642,489	521,625	531,119
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド		345,125	301,719	532,564

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2015年9月7日現在

項目	第114期末	
	評価額	比率
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	2,860,537	50.7
ダイワ日本国債マザーファンド	591,338	10.5
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	532,422	9.4
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	522,733	9.3
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド	531,119	9.4
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド	532,564	9.4
コール・ローン等 その他	73,968	1.3
投資信託財産総額	5,644,683	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものであります。なお、9月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝119.07円、1カナダ・ドル＝89.67円、1オーストラリア・ドル＝82.55円、1香港ドル＝15.36円、1シンガポール・ドル＝83.62円、1ニュージーランド・ドル＝74.80円、1イギリス・ポンド＝180.89円、1スイス・フラン＝122.63円、1デンマーク・クローネ＝17.82円、1ノルウェー・クローネ＝14.36円、1スウェーデン・クローネ＝14.12円、1エコ・コルナ＝4.92円、1ポーランド・ズロチ＝31.49円、1ユーロ＝132.97円です。

（注3）ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドにおいて、第114期末における外貨建純資産（50,953,970千円）の投資信託財産総額（52,505,941千円）に対する比率は、97.0%です。

ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドにおいて、第114期末における外貨建純資産（145,409,078千円）の投資信託財産総額（146,316,360千円）に対する比率は、99.4%です。

ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンドにおいて、第114期末における外貨建純資産（2,045,314千円）の投資信託財産総額（2,071,238千円）に対する比率は、98.7%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年4月6日)、(2015年5月7日)、(2015年6月8日)、(2015年7月6日)、(2015年8月6日)、(2015年9月7日)現在

項目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
<b>(A) 資産</b>	<b>6,436,808,718円</b>	<b>6,313,601,850円</b>	<b>6,340,092,412円</b>	<b>6,024,417,163円</b>	<b>6,125,705,756円</b>	<b>5,644,683,229円</b>
コール・ローン等	80,701,417	78,625,651	78,949,452	75,855,617	74,446,684	73,968,170
ダイワ・外債ソリン・マザーファンド(評価額)	3,181,750,731	3,121,806,889	3,141,309,714	2,985,560,612	3,025,542,907	2,860,537,288
ダイワ日本国債 マザーファンド(評価額)	634,974,222	628,349,571	624,424,087	603,015,414	598,348,426	591,338,130
ダイワ・グローバル REIT・マザーファンド(評価額)	635,881,573	612,576,301	618,892,793	598,965,799	609,281,630	532,422,021
ダイワJ-REIT アクティブ・マザーファンド(評価額)	629,985,968	615,549,822	613,599,175	577,190,898	595,082,125	522,733,788
ダイワ日本 ハーモニーストック・マザーファンド(評価額)	639,516,556	617,767,515	629,989,589	597,294,224	608,418,037	531,119,481
ダイワ外国 ハーモニーストック・マザーファンド(評価額)	623,998,251	621,926,101	632,927,602	586,534,599	610,585,947	532,564,351
未収入金	10,000,000	17,000,000	—	—	4,000,000	—
<b>(B) 負債</b>	<b>28,119,570</b>	<b>43,966,342</b>	<b>28,888,935</b>	<b>28,180,503</b>	<b>27,007,696</b>	<b>27,839,334</b>
未払収益分配金	20,107,535	19,990,848	19,767,170	19,356,368	19,232,099	19,135,199
未払解約金	447,349	16,388,202	1,361,815	2,118,458	510,395	1,280,917
未払信託報酬	7,520,463	7,498,974	7,626,783	6,534,085	7,052,143	7,168,010
その他未払費用	44,223	88,318	133,167	171,592	213,059	255,208
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>6,408,689,148</b>	<b>6,269,635,508</b>	<b>6,311,203,477</b>	<b>5,996,236,660</b>	<b>6,098,698,060</b>	<b>5,616,843,895</b>
元本	6,702,511,673	6,663,616,051	6,589,056,685	6,452,122,993	6,410,699,686	6,378,399,716
次期繰越損益金	△ 293,822,525	△ 393,980,543	△ 277,853,208	△ 455,886,333	△ 312,001,626	△ 761,555,821
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>6,702,511,673□</b>	<b>6,663,616,051□</b>	<b>6,589,056,685□</b>	<b>6,452,122,993□</b>	<b>6,410,699,686□</b>	<b>6,378,399,716□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	9,562円	9,409円	9,578円	9,293円	9,513円	8,806円

\*第108期末における元本額は6,774,991,208円、当作成期間（第109期～第114期）中における追加設定元本額は154,515,343円、同解約元本額は551,106,835円です。

\*第114期末の計算口数当りの純資産額は8,806円です。

\*第114期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は761,555,821円です。

## 6 資産バランスファンド (分配型)

### ■損益の状況

第109期 自2015年3月7日 至2015年4月6日 第112期 自2015年6月9日 至2015年7月6日  
 第110期 自2015年4月7日 至2015年5月7日 第113期 自2015年7月7日 至2015年8月6日  
 第111期 自2015年5月8日 至2015年6月8日 第114期 自2015年8月7日 至2015年9月7日

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(A) 配当等収益	2,951円	2,568円	3,080円	2,557円	2,794円	2,953円
受取利息	2,951	2,568	3,080	2,557	2,794	2,953
(B) 有価証券売買損益	8,800,741	△ 74,418,224	138,663,381	△ 157,706,572	167,193,873	△ 424,453,380
売買益	20,664,635	10,638,455	141,138,993	2,623,743	167,776,852	4,350,972
売買損	△ 11,863,894	△ 85,056,679	△ 2,475,612	△ 160,330,315	△ 582,979	△ 428,804,352
(C) 信託報酬等	△ 7,564,686	△ 7,543,069	△ 7,671,632	△ 6,572,510	△ 7,093,610	△ 7,210,159
(D) 当期損益(A+B+C)	1,239,006	△ 81,958,725	130,994,829	△ 164,276,525	160,103,057	△ 431,660,586
(E) 前期繰越損益金	△ 58,420,120	△ 66,236,492	△ 152,176,116	△ 33,621,082	△ 201,253,159	△ 50,548,943
(F) 追加信託差損益金	△ 216,533,876	△ 225,794,478	△ 236,904,751	△ 238,632,358	△ 251,619,425	△ 260,211,093
(配当等相当額)	( 217,050,550)	( 205,565,002)	( 189,860,073)	( 179,555,921)	( 164,323,373)	( 154,224,764)
(売買損益相当額)	(△433,584,426)	(△431,359,480)	(△426,764,824)	(△418,188,279)	(△415,942,798)	(△414,435,857)
(G) 合計(D+E+F)	△ 273,714,990	△ 373,989,695	△ 258,086,038	△ 436,529,965	△ 292,769,527	△ 742,420,622
(H) 収益分配金	△ 20,107,535	△ 19,990,848	△ 19,767,170	△ 19,356,368	△ 19,232,099	△ 19,135,199
次期繰越損益金(G+H)	△ 293,822,525	△ 393,980,543	△ 277,853,208	△ 455,886,333	△ 312,001,626	△ 761,555,821
追加信託差損益金	△ 226,850,004	△ 239,373,288	△ 243,410,348	△ 252,809,117	△ 260,958,421	△ 273,872,153
(配当等相当額)	( 206,734,422)	( 191,986,192)	( 183,354,476)	( 165,379,162)	( 154,984,377)	( 140,563,704)
(売買損益相当額)	(△433,584,426)	(△431,359,480)	(△426,764,824)	(△418,188,279)	(△415,942,798)	(△414,435,857)
繰越損益金	△ 66,972,521	△ 154,607,255	△ 34,442,860	△ 203,077,216	△ 51,043,205	△ 487,683,668

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 1,391,290円(未監査)

### ■収益分配金の計算過程(総額)

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,791,407円	6,412,038円	13,261,573円	5,179,609円	9,893,103円	5,474,139円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	217,050,550	205,565,002	189,860,073	179,555,921	164,323,373	154,224,764
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	226,841,957	211,977,040	203,121,646	184,735,530	174,216,476	159,698,903
(f) 分配金	20,107,535	19,990,848	19,767,170	19,356,368	19,232,099	19,135,199
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	206,734,422	191,986,192	183,354,476	165,379,162	154,984,377	140,563,704
(h) 受益権総口数	6,702,511,673□	6,663,616,051□	6,589,056,685□	6,452,122,993□	6,410,699,686□	6,378,399,716□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
1万口当たり分配金	30円	30円	30円	30円	30円	30円
(単 價)	(9,562円)	(9,409円)	(9,578円)	(9,293円)	(9,513円)	(8,806円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

#### 《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月6日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当たりの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は9,308円です。」

## 6 資産バランスファンド（成長型）

### ★ 6 資産バランスファンド（成長型）

#### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			合成指數		株式組入比率	株式先物比率	公社債組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配額)	税込分配金	期騰落率	(参考指數)	期騰落率						
15期末(2013年9月6日)	円 8,752	円 100	% 6.5	10,187	% 6.9	% 48.5	% -	% 9.4	% -	% 38.0	百万円 6,525
16期末(2014年3月6日)	9,865	90	13.7	11,488	12.8	48.1	-	9.3	-	38.6	6,526
17期末(2014年9月8日)	10,410	200	7.6	12,468	8.5	47.7	-	9.5	-	38.4	6,329
18期末(2015年3月6日)	11,878	200	16.0	14,573	16.9	48.6	-	9.2	-	38.5	6,140
19期末(2015年9月7日)	10,742	200	△ 7.9	13,118	△10.0	47.6	-	10.0	△0.3	38.5	5,349

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 合成指數は、下記の指數と配分比率をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。海外の指數は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資対象資産	指數	配分比率
海外債券	シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）	5%
国内債券	ダイワ・ボンド・インデックス国債指數	5%
海外リート	S & P 先進国REIT指數（除く日本、円換算）	20%
国内リート	東証REIT指數（配当込み）	20%
海外株式	MSCIコクサイ指數（円換算）	25%
国内株式	TOPIX	25%

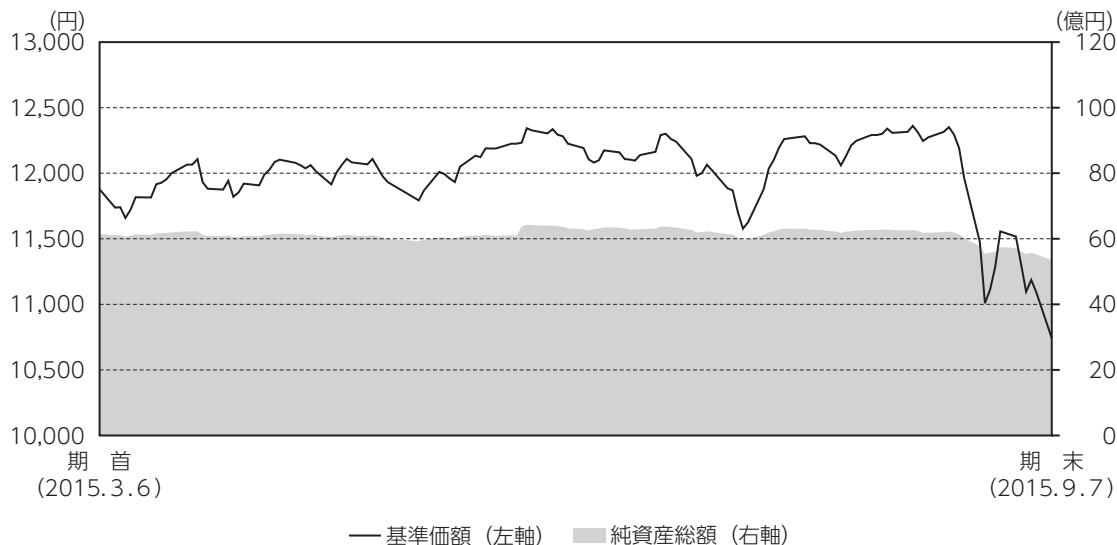
(注3) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

### ■基準価額・騰落率

期 首：11,878円

期 末：10,742円（分配金200円）

騰落率： $\triangle 7.9\%$ （分配金込み）

### ■組入ファンドの当期の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	$\triangle 5.1\%$
ダイワ日本国債マザーファンド	0.5%
ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド	$\triangle 10.1\%$
ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド	$\triangle 15.6\%$
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド	$\triangle 7.2\%$
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド	$\triangle 0.3\%$

### ■基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資した結果、主に国内外のリート市況および海外株式市況が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は値下がりました。

## 6資産バランスファンド（成長型）

年 月 日	基 準 価 額	合 成 指 数		株式組入比	株式先物率	公社債組入比率	債券先物比	投信託証券組入比率
		騰 落 率	(参考指數)	騰 落 率				
(期首) 2015年3月6日	円 11,878	% —	14,573	% —	% 48.6	% —	% 9.2	% — 38.5
3月末	11,943	0.5	14,600	0.2	48.0	—	9.5	— 38.6
4月末	11,976	0.8	14,670	0.7	47.8	—	9.6	— 38.7
5月末	12,327	3.8	15,073	3.4	47.4	—	9.7	— 38.5
6月末	11,981	0.9	14,540	△ 0.2	47.7	—	9.7	— 38.8
7月末	12,247	3.1	14,815	1.7	48.4	—	9.4	△0.4 38.5
8月末	11,518	△3.0	13,848	△ 5.0	48.2	—	9.8	△0.4 38.4
(期末) 2015年9月7日	10,942	△7.9	13,118	△10.0	47.6	—	10.0	△0.3 38.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○海外債券市況

海外債券市況は、期首より、E C B（欧州中央銀行）が量的金融緩和を開始したこと、F O M C（米国連邦公開市場委員会）を受けて米国の利上げが遠のいたとの見方が強まることにより、欧米の金利は低下傾向で推移しました。しかし2015年4月末からは、ユーロ圏の金利が大きく上昇に転じ、欧米の金融政策当局者が市場変動の高まりに容認姿勢を示したこともあり、米国の金利もこの動きに連れて上昇しました。6月以降は、欧州でのギリシャ支援問題の混迷や中国株の急落を受けて一時的に安全資産への需要が高まり金利低下するなど、金利は上下に振れ幅の大きい展開となりました。7月以降は原油価格が再び下落に転じたほか、中国や新興国経済への懸念も強まり、カナダやノルウェーなどの資源国の金利が低下し、米国の金利も4月以降の金利上昇幅を縮小する展開となりました。

### ○国内債券市況

国内債券市況は、日銀が金融政策を据え置く中、2015年3月末にかけて、国内長期金利は比較的広いレンジ内で不安定に推移しました。4月に入るといったん低下したものの、5月以降は、欧米長期金利の上昇に連れて一段とレンジを切上げた後、不安定に推移しました。7月上旬以降は、欧米長期金利が落ち着きを取り戻したことから、緩やかに低下しました。

### ○海外リート市況

海外リート市況は、米国では、2015年1－3月期G D P（国内総生産）成長率は低調な伸びにとどまったものの、景気減速は冬場の寒波の影響による一時的なものとの見方を背景に年内の利上げ観測が強まり、長期国債利回りが上昇したことが嫌気され、2015年4月から6月にかけてリート市況は下落しました。その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が年内の利上げやその後の慎重なペースでの利上げを示唆することで金融政策に対する安心感が広がり、市況は上昇に転じました。しかし8月に入り、中国経済の減速に対する懸念が急速に強まり、世界的に株式市況が大幅に下落したため米国リート市況も期末にかけて急落しました。米国以外の国・地域についても、金融緩和など景気支援策を打ち出しているにもかかわらず、中国の景気減速に歯止めがかからないことが欧州やアジア経済の先行きに対する警戒を強め、市況は期末にかけて下げ足を速めました。英国については、好調なロンドンの不動産市場を背景に主要リートの業績が堅調なものになったことが支援材料となり、小幅の下落にとどまりました。

### ○国内リート市況

国内リート市況は、おおむね横ばい圏で始まりました。オフィス・ビル空室率の低下や実物不動産取引の活発化などファンダメンタルズの改善傾向は好感された一方、国内リート各社によるエクイティ・ファイナンスが需給面での重しとなりました。2015年7月に入ると、ギリシャのデフォルト（債務不履行）リスクや中国の株式市況の調整などを受けて先行き不透明感が強まり、国内リート市況は大きく下落しました。その後は一時的に落ち着きを取り戻しましたが、8月後半から期末にかけて再び調整局面を迎えるました。

## 6 資産バランスファンド（成長型）

### ○海外株式市況

海外株式市況は、米国の早期利上げ観測と米ドル高による米国企業の業績に対する警戒感などから、下落してのスタートとなりました。その後は、欧州の景気回復に対する期待感やE C Bの国債購入開始、米国の早期利上げ懸念の後退、世界的な企業買収や事業再編など、世界的に良好な投資環境を背景に上昇基調に転じました。中国における香港・上海間の相互株式取引などを追い風に香港市場が上昇したこと、海外株式市場を下支えする要因になりました。しかし2015年6月に入ると、ギリシャの債務問題の行方をめぐり値動きの荒い展開となり、7月上旬にかけてギリシャのデフォルトリスクが高まったことから大きく下落しました。その後は、ギリシャ問題がひとまず落ち着いたことや好調な米国企業決算などから急速に値を戻したものの、米国の9月利上げに対する警戒感が高まる中で中国が人民元の切下げを発表したことや中国株の急落などを受けてリスク回避の動きが一気に高まり、海外株式市況は大きく値を下げて期末を迎えました。

### ○国内株式市況

国内株式市況は、期首より、E C Bによる量的金融緩和の導入や国内景気の持ち直し、良好な株式需給関係、円安の進行などを受けて、株価は大きく上昇しました。2015年6月からは、ギリシャ支援協議の難航によりギリシャのデフォルト懸念が一時高まることや中国株の急落を受け中国経済への不安が高まること、さらには世界経済減速懸念も台頭したことから日本株も一時急落するなど、不安定な推移となりました。

### ○為替相場

為替相場は、期首より、米ドルが対円で横ばい推移となる一方、物価低迷から量的金融緩和の導入決定に至ったユーロは対円で下落しました。また、原油価格の底打ちにより、それまで売られていたオーストラリア・ドルやカナダ・ドルなどの資源国の通貨も、対円で反発傾向となりました。2015年4月末からは、欧米金利が上昇して日本との金利差が拡大するとの観測から、欧州通貨や米ドルが対円で上昇しました。6月にギリシャ支援問題が混迷すると、市場のリスク回避傾向が強まって対米ドルの円安傾向が頭打ちとなり、またユーロは対円で下落しました。8月以降は、中国の人民元切下げをきっかけに中国景気減速への懸念が強まり、さらに一時は中国株安が世界的に波及するなど市場のリスク回避度が強まり、円高に推移しました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行ないます。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行ないます。

- ・ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド ..... 純資産総額の5%
- ・ダイワ日本国債マザーファンド ..... 純資産総額の5%
- ・ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンド ..... 純資産総額の20%
- ・ダイワJ－R E I T アクティブ・マザーファンド ..... 純資産総額の20%
- ・ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド ..... 純資産総額の25%
- ・ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド ..... 純資産総額の25%

## ○ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

債券は、取得時に信用格付A格相当以上の海外の国債を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、各国の市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて変動させます。通貨の投資割合は各通貨の市場動向、信用力や経済環境の評価に応じて変動させます。ドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度ずつとし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度とします。

## ○ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、作成期間を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行なってまいります。

## ○ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、コーエン＆スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク（以下、C&S）に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。銘柄選択に際しては、良好な財務体質を有し、低コストでの資金調達により物件取得や事業拡大を図ることが可能であり、かつ保有不動産の価値と比較して価格が割安なリートを選好します。用途別では、米国では住宅施設やオフィスを保有するリート、欧州ではロンドンのオフィスや商業施設に加えてユーロ圏の商業施設、パリなど主要都市のオフィスを保有するリートに注目しています。

## ○ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行ない、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。ポートフォリオ戦略については、個別銘柄ごとのバリュエーション格差が徐々に縮小していることに鑑み、各種バリュエーション指標での割安度よりも、経営戦略や業績の変化などを重視した銘柄選別を行なっていく方針です。また、相対的に景気敏感なオフィス・セクターや、訪日観光客の増加などテーマ性のあるホテル・セクターにも注目します。

## ○ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド

海外株式の中から、持続可能なより良い社会への企業の取組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資します。米国は堅調な景気拡大が継続しており、欧州は中央銀行による量的金融緩和策や対米ドルでの通貨安期待など株式市場にとって良好な投資環境が持続すると考えております。企業業績や株価バリュエーションなどを精査しつつ、個別銘柄の選別投資を行なう方針です。

## ○ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド

国内株式市況は、国内外の金融緩和や円安進行、安倍政権の政策、国内企業の業績回復、株主還元強化への期待などが引き続き株価の押し上げ要因になると想定しており、株式組入比率は90%程度以上の高位を維持する方針です。銘柄の選定にあたっては、日本総研が行なう企業の「社会的責任」に関する調査を参考に、持続可能なより良い社会への企業の取組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄を選定します。

### ポートフォリオについて

#### ○当ファンド

各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行ないました。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、以下の標準組入比率をめどに投資を行ないました。

- ・ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド .....純資産総額の5%
- ・ダイワ日本国債マザーファンド .....純資産総額の5%
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド .....純資産総額の20%
- ・ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド .....純資産総額の20%
- ・ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド .....純資産総額の25%
- ・ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド .....純資産総額の25%

#### ○ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

債券は、海外の国債を中心に投資する一方、政府保証債や国際機関債にも投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で変動させました。地政学リスクの高まりや各国の金融緩和政策が材料視されるなどして金利が低下するとの見通しが強まった局面では、デュレーションを長期化しました。一方で、米国の利上げ観測が材料視されるなど金利が上昇するとの見通しが強まった局面では、当該通貨のデュレーションを短期化しました。通貨の投資割合は、ドル通貨圏、欧洲通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧洲通貨圏内ではユーロを50%程度としつつ、実質外貨比率を高位に保ちました。各通貨の市場動向、信用力や経済環境の評価に応じて、投資割合を変動させました。

#### ○ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、期を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ないました。

#### ○ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。当ファンドでは、信託財産の中長期的な成長をめざし保有不動産の価値などと比べて魅力的であると考える銘柄に着目するとともに、安定的な配当利回りの確保をめざしてポートフォリオを構築しました。国・地域別配分では大きなリスクを取らず各地域にバランス良く投資を行ないましたが、ECBによる追加金融緩和を受けて堅調に推移したフランスの商業施設リートなどの組入れを引下げ、ユーロ圏のオーバーウエート幅を縮小しました。また、リート価格が堅調に推移し割安感が後退したロンドンにオフィスを保有するリートなどを一部売却し、英国をニュートラル程度に引下げました。一方、リート価格の下落により割安感が高まった商業施設大手リートなどを買い増しし、米国をニュートラル程度に引

上げました。

### ○ダイワJ－REITアクティヴ・マザーファンド

投資信託証券の組入比率につきましては、通常の状態で信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、期を通じておおむね96～98%台程度で推移させました。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。個別銘柄では、インベスコ・オフィス・ジェイリート、インヴィンシブル、ジャパン・ホテル・リートなどを東証REIT指数と比較してオーバーウエートとし、日本リテールファンド、日本ビルファンド、アドバンス・レジデンス等をアンダーウエートとしました。

### ○ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド

株式組入比率は、米国の堅調な景気や欧州の量的金融緩和策導入による投資環境の好転と景気回復期待などから、おおむね90%程度以上の高位を維持しました。個別銘柄では、業績見通しや株価バリュエーション等を総合的に勘案して、CVS HEALTH CORP、MANPOWERGROUP IN、UNITEDHEALTH GRP、MOHAWK INDs（すべて米国）などを上位組入れとしました。

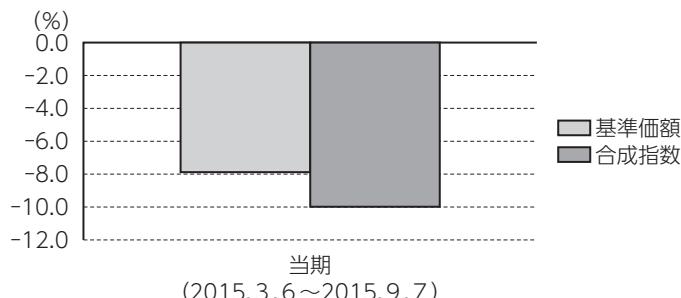
### ○ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド

株式組入比率は、円安・原油安を背景にした内需関連企業の業績の回復期待などから、期を通して95%以上で推移させました。業種構成は、情報・通信業、小売業、建設業などの比率を引上げた一方で、化学、電気機器、輸送用機器などの比率を引下げました。個別銘柄では、業績見通しや株価指標などを総合的に勘案して日本電信電話、セブン&アイ・HDGS、日立物流などを新規に組入れました。一方、日産自動車、三菱ケミカルHDGS、東京瓦斯などを全部売却しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は200円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期	
	2015年3月7日 ～2015年9月7日	
当期分配金（税込み）	(円)	200
対基準価額比率	(%)	1.83
当期の収益	(円)	50
当期の収益以外	(円)	150
翌期繰越分配対象額	(円)	1,866

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	56.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	489.30
(d) 分配準備積立金	1,520.92
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,066.25
(f) 分配金	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,866.25

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行ないます。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行ないます。

- ・ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド ..... 純資産総額の5%
- ・ダイワ日本国債マザーファンド ..... 純資産総額の5%
- ・ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンド ..... 純資産総額の20%
- ・ダイワJ－R E I T アクティブ・マザーファンド ..... 純資産総額の20%
- ・ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド ..... 純資産総額の25%
- ・ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド ..... 純資産総額の25%

## ○ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

債券は、取得時に信用格付A格相当以上の海外の国債を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10

（年）程度の範囲で、各国の市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて変動させます。通貨の投資割合は各通貨の市場動向、信用力や経済環境の評価に応じて変動させます。ドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度とします。

## ○ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、期を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年末満、残存1年以上2年末満、…、残存14年以上15年末満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行なってまいります。

## ○ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。銘柄選択に際しては、良好な財務体質を有し、低成本での資金調達により物件取得や事業拡大を図ることが可能であり、かつ保有不動産の価値と比較して価格が割安なリートを選好します。用途別では、米国では個人用倉庫や住宅施設を保有するリート、欧州ではロンドンのオフィスや商業施設、競争力の高い大規模な優良商業施設を保有するユーロ圏のリートに加えて、景気の持ち直しを背景に賃料上昇や空室率の改善が期待されるスペインやイタリアのリートにも注目しています。

## ○ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行ない、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。現状の個別銘柄ごとのバリュエーション格差は過去と比較して大きないと判断していることから、ポートフォリオ戦略については、各種バリュエーション指標での割安度よりも、経営戦略や業績の変化等を重視した銘柄選別を行なっていく方針です。また、相対的に景気敏感なオフィス・セクターや、訪日観光客の増加などテーマ性のあるホテル・セクターにも注目しています。

## ○ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド

海外株式の中から、持続可能なより良い社会への企業の取り組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資します。株式市場は短期的に、中国の成長に対する懸念、新興国通貨の下落、軟調な商品市況など不安要素をめぐり値動きの荒い展開が予想されます。しかし、米国は堅調な景気拡大が継続していること、欧州経済に対する回復期待の高まり、日欧の中央銀行による量的金融緩和策を通じた通貨安期待などプラス要因に対する見方に変化はなく、中長期的には株式市場にとって良好な投資環境が持続すると考えております。企業業績や株価バリュエーション等を精査しつつ、個別銘柄の選別投資を行なう方針です。

## ○ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド

日本総研が行なう企業の「社会的責任」に関する調査を参考に、持続可能なより良い社会への企業の取組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄を選定します。また、株価水準、流動性、分散なども考慮します。

## 6 資産バランスファンド（成長型）

### 1万口当りの費用の明細

項目	当期		項目の概要	
	(2015.3.7~2015.9.7)			
	金額	比率		
信託報酬	89円	0.738%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,006円です。	
(投信会社)	(46)	(0.383)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価	
(販売会社)	(39)	(0.328)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価	
(受託銀行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価	
売買委託手数料	9	0.075	売買委託手数料=期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料	
(株式)	(6)	(0.054)		
(先物)	(0)	(0.000)		
(投資信託証券)	(3)	(0.021)		
有価証券取引税	3	0.024	有価証券取引税=期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金	
(株式)	(3)	(0.022)		
(投資信託証券)	(0)	(0.002)		
その他費用	4	0.031	その他費用=期中のその他費用／期中の平均受益権口数	
(保管費用)	(3)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用	
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用	
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用	
合計	104	0.869		

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■売買および取引の状況

### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	千口 13,033	千円 23,000	千口 19,056	千円 33,000
ダイワ日本国債マザーファンド	17,292	21,000	34,506	42,000
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	48,939	99,000	72,841	147,000
ダイワリ-REITアクティブ・マザーファンド	49,313	113,000	30,978	67,000
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド	58,710	66,000	273,019	299,000
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド	43,985	85,000	93,929	180,000

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

項 目	当 期
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	2,633,499千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,258,559千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	1.16
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,950,483千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,279,448千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	1.73

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況

### (1) ベビーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

### (2) ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

### (3) ダイワ日本国債マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

決 算 期	当 期				
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D
公社債	百万円 57,107	百万円 2,229	% 3.9	百万円 13,596	百万円 -
コール・ローン	203,329	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

### (4) ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

### (5) ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

決 算 期	当 期				
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D
投資信託証券	百万円 21,314	百万円 7,192	% 33.7	百万円 6,508	百万円 1,375
コール・ローン	206,483	-	-	-	-

(注) 平均保有割合1.7%

### (6) ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

決 算 期	当 期				
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D
株式	百万円 1,107	百万円 106	% 9.6	百万円 1,526	百万円 210
コール・ローン	10,674	-	-	-	-

(注) 平均保有割合64.7%

## 6 資産バランスファンド（成長型）

### (7) ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

### (8) 利害関係人の発行する有価証券等

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

種類	当期		
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド		
	買付額	売付額	期末保有額
投資信託証券	百万円 440	百万円 -	百万円 1,602

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

### (9) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となつて発行される有価証券

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

種類	当期		
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド		
	買付額		
投資信託証券		百万円 1,997	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

### (10) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

項目	項目	当期
売買委託手数料総額 (A)		4,626千円
うち利害関係人への支払額 (B)		345千円
(B)/(A)		7.5%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、日の出証券、大和証券、大和証券オフィス投資法人です。

## ■組入資産明細表

### 親投資信託残高

種類	類	期首	当期末	評価額
		口数	口数	
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド		167,834	161,811	272,036
ダイワ日本国債マザーファンド		245,507	228,292	278,722
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド		595,720	571,819	1,056,149
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド		525,766	544,101	1,050,713
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド		1,503,506	1,289,197	1,312,660
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド		806,213	756,269	1,334,890

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2015年9月7日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	272,036	4.9
ダイワ日本国債マザーファンド	278,722	5.1
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	1,056,149	19.2
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	1,050,713	19.1
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド	1,312,660	23.9
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド	1,334,890	24.3
コール・ローン等 その他	194,999	3.5
投資信託財産総額	5,500,174	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝119.07円、1カナダ・ドル＝89.67円、1オーストラリア・ドル＝82.55円、1香港ドル＝15.36円、1シンガポール・ドル＝83.62円、1ニュージーランド・ドル＝74.80円、1イギリス・ポンド＝180.89円、1スイス・フラン＝122.63円、1デンマーク・クローネ＝17.82円、1ノルウェー・クローネ＝14.36円、1スウェーデン・クローネ＝14.12円、1チエコ・クローネ＝4.92円、1ポーランド・ズロチ＝31.49円、1ユーロ＝132.97円です。

(注3) ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（50,953,970千円）の投資信託財産総額（52,505,941千円）に対する比率は、97.0%です。

ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（145,409,078千円）の投資信託財産総額（146,316,360千円）に対する比率は、99.4%です。

ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,045,314千円）の投資信託財産総額（2,071,238千円）に対する比率は、98.7%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月7日現在

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>5,500,174,303円</b>
コール・ローン等	192,999,462
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド(評価額)	272,036,974
ダイワ日本国債マザーファンド(評価額)	278,722,727
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド(評価額)	1,056,149,964
ダイワJ-REITアクティヴ・マザーファンド(評価額)	1,050,713,806
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド(評価額)	1,312,660,480
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド(評価額)	1,334,890,890
未収入金	2,000,000
<b>(B) 負債</b>	<b>150,692,142</b>
未払収益分配金	99,595,979
未払解約金	5,618,698
未払信託報酬	45,226,306
その他未払費用	251,159
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>5,349,482,161</b>
元本	4,979,798,996
次期繰越損益金	369,683,165
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>4,979,798,996口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C / D)</b>	<b>10,742円</b>

\*期首における元本額は5,169,917,937円、当期中ににおける追加設定元本額は494,944,170円、同解約元本額は685,063,111円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,742円です。

## ■損益の状況

当期 自2015年3月7日 至2015年9月7日

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>23,758円</b>
受取利息	23,758
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△430,752,125</b>
売買益	32,723,498
売買損	△463,475,623
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 45,477,465</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>△476,205,832</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>757,388,290</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>188,096,686</b>
(配当等相当額)	( 243,665,981)
(売買損益相当額)	(△ 55,569,295)
<b>(G) 合計(D + E + F)</b>	<b>469,279,144</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 99,595,979</b>
次期繰越損益金(G + H)	369,683,165
追加信託差損益金	188,096,686
(配当等相当額)	( 243,665,981)
(売買損益相当額)	(△ 55,569,295)
分配準備積立金	685,690,604
繰越損益金	△504,104,125

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するための要する費用：2,741,719円（未監査）

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	27,898,293円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	243,665,981
(d) 分配準備積立金	757,388,290
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,028,952,564
(f) 分配金	99,595,979
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	929,356,585
(h) 受益権総口数	4,979,798,996口

## 6資産バランスファンド（成長型）

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	200円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、9月7日現在の基準価額（1万口当たり10,742円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行われ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

### 《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月6日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当たりの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

〔期中の平均基準価額（月末値の平均値）は11,209円です。〕

## &lt;補足情報&gt;

当ファンド（6資産バランスファンド（分配型／成長型））が投資対象としている「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」の決算日（2015年4月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2015年9月7日現在におけるダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの組入資産の内容等を32～35ページに併せて掲載いたしました。

## ■ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの主要な売買銘柄

## 公 社 債

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 0.5% 2025/2/15	15,099,188	GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 0.5% 2025/2/15	13,286,758
GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 2.5% 2046/8/15	11,575,898	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3.5% 2020/6/1	12,755,648
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.125% 2025/5/15	10,854,121	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.5% 2045/2/15	11,994,315
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.5% 2045/2/15	10,672,963	GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 2.5% 2046/8/15	11,257,376
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 4.5% 2020/4/15	10,189,467	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 4.5% 2020/4/15	9,951,079
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3.5% 2020/6/1	9,072,493	United Kingdom Gilt (イギリス) 5% 2025/3/7	9,408,549
United Kingdom Gilt (イギリス) 4.25% 2046/12/7	7,986,956	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.375% 2020/5/31	7,282,451
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3.25% 2025/4/21	7,976,117	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/2/15	7,227,103
United Kingdom Gilt (イギリス) 5% 2025/3/7	7,731,213	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 0.875% 2017/4/30	6,171,319
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.375% 2020/5/31	7,326,690	United Kingdom Gilt (イギリス) 4.25% 2046/12/7	6,159,137

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

## ■組入資産明細表

下記は、2015年9月7日現在におけるダイワ・外債ソブリン・マザーファンド（30,396,580千口）の内容です。

### (1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区分	2015年9月7日現在							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	外貨建金額	邦貨換算金額				5年以上	2年以上	2年末満
アメリカ	千アメリカ・ドル 95,000	千アメリカ・ドル 95,458	千円 11,366,269	% 22.2	% —	% 18.4	% 3.8	% —
カナダ	千カナダ・ドル 66,000	千カナダ・ドル 70,140	6,289,471	12.3	—	7.7	3.7	0.9
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 52,200	千オーストラリア・ドル 56,559	4,669,011	9.1	—	8.3	0.9	—
イギリス	千イギリス・ポンド 26,500	千イギリス・ポンド 34,202	6,186,828	12.1	—	12.1	—	—
デンマーク	千デンマーク・クローネ 53,000	千デンマーク・クローネ 59,059	1,052,444	2.1	—	1.2	0.8	—
ノルウェー	千ノルウェー・クローネ 4,000	千ノルウェー・クローネ 4,199	60,304	0.1	—	0.1	—	—
スウェーデン	千スウェーデン・クローネ 75,200	千スウェーデン・クローネ 88,620	1,251,328	2.4	—	1.9	—	0.6
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 45,000	千ポーランド・ズロチ 48,308	1,521,218	3.0	—	1.6	1.4	—
ユーロ（アイルランド）	千ユーロ 33,000	千ユーロ 42,175	5,608,048	11.0	—	11.0	—	—
ユーロ（ベルギー）	千ユーロ 61,300	千ユーロ 66,312	8,817,546	17.3	—	17.3	—	—
ユーロ（ドイツ）	千ユーロ 12,500	千ユーロ 12,365	1,644,174	3.2	—	3.2	—	—
ユーロ（その他）	千ユーロ 2,000	千ユーロ 2,179	289,866	0.6	—	0.6	—	—
ユーロ（小計）	108,800	123,032	16,359,635	32.0	—	32.0	—	—
合計	—	—	48,756,513	95.4	—	83.3	10.7	1.5

(注1) 邦貨換算金額は、2015年9月7日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものであります。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 外国(外貨建)公社債(銘柄別)

2015年9月7日現在							
区分		銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
				%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	12,000	12,165	1,448,586	2021/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.1250	45,000	44,950	5,352,256	2025/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	14,000	14,102	1,679,215	2020/07/31
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	8,000	8,083	962,457	2022/07/31
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	14,000	13,842	1,648,226	2025/08/15
	Poland Government International Bond	国債証券	6.3750	2,000	2,314	275,527	2019/07/15
通貨小計	銘柄数 金額	6銘柄			95,000	95,458	11,366,269
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.0000	5,000	5,127	459,818	2016/06/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.7500	20,000	22,180	1,988,916	2022/06/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.2500	20,000	21,471	1,925,304	2025/06/01
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	1.4500	11,000	11,164	1,001,116	2020/06/15
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	1.3750	5,000	5,056	453,425	2020/01/28
	Japan Bank For International Cooperation	特殊債券	2.3000	5,000	5,139	460,890	2018/03/19
通貨小計	銘柄数 金額	6銘柄			66,000	70,140	6,289,471
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.7500	6,500	7,762	640,810	2021/05/15
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.5000	5,000	5,436	448,807	2018/01/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	3.2500	35,000	36,848	3,041,802	2025/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.2500	5,700	6,512	537,590	2026/04/21
通貨小計	銘柄数 金額	4銘柄			52,200	56,559	4,669,011
イギリス	United Kingdom Gilt	国債証券	5.0000	14,500	18,678	3,378,826	2025/03/07
	United Kingdom Gilt	国債証券	4.2500	7,200	10,083	1,824,022	2046/12/07
	United Kingdom Gilt	国債証券	3.2500	3,000	3,485	630,474	2044/01/22
	United Kingdom Gilt	国債証券	2.7500	1,800	1,954	353,506	2024/09/07
通貨小計	銘柄数 金額	4銘柄			26,500	34,202	6,186,828
デンマーク	DANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	4.0000	20,000	23,326	415,669	2019/11/15
	DANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.7500	33,000	35,733	636,774	2025/11/15
通貨小計	銘柄数 金額	2銘柄			53,000	59,059	1,052,444
ノルウェー	NORWEGIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.0000	4,000	4,199	60,304	2023/05/24
					4,000	4,199	60,304
通貨小計	銘柄数 金額	1銘柄			4,000	4,199	60,304
スウェーデン	SWEDISH GOVERNMENT BOND	国債証券	5.0000	37,200	46,879	661,932	2020/12/01
	SWEDISH GOVERNMENT BOND	国債証券	3.0000	20,000	20,607	290,976	2016/07/12
	SWEDISH GOVERNMENT BOND	国債証券	2.5000	18,000	21,134	298,419	2025/05/12
通貨小計	銘柄数 金額	3銘柄			75,200	88,620	1,251,328

# ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

2015年9月7日現在							
区分		銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
				%	千ポーランド・ズロチ	邦貨換算金額	
ポーランド		Poland Government Bond	国債証券	5.5000	20,000	千円 22,538	2019/10/25
		Poland Government Bond	国債証券	3.2500	25,000	25,770	2025/07/25
通貨小計	銘柄数 金額	2銘柄			45,000	48,308	1,521,218
ユーロ(アイルランド)		IRISH TREASURY	国債証券	5.4000	18,000	千ユーロ 24,469	2025/03/13
		IRISH TREASURY	国債証券	3.4000	15,000	17,705	2024/03/18
国小計	銘柄数 金額	2銘柄			33,000	42,175	5,608,048
ユーロ(ベルギー)		Belgium Government Bond	国債証券	0.8000	42,000	千ユーロ 41,183	2025/06/22
		Belgium Government Bond	国債証券	4.2500	5,000	7,472	2041/03/28
		Belgium Government Bond	国債証券	4.2500	14,300	17,656	2,347,746
国小計	銘柄数 金額	3銘柄			61,300	66,312	8,817,546
ユーロ(ドイツ)		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	0.5000	12,500	千ユーロ 12,365	1,644,174
						千ユーロ 2,179	2025/02/15
国小計	銘柄数 金額	1銘柄			12,500	12,365	1,644,174
ユーロ(その他)		Lithuania Government International Bond	国債証券	2.1250	千ユーロ 2,000	千ユーロ 2,179	289,866
						2,179	2026/10/29
国小計	銘柄数 金額	1銘柄			2,000	2,179	289,866
通貨小計	銘柄数 金額	7銘柄			108,800	123,032	16,359,635
合計	銘柄数 金額	35銘柄					48,756,513

(注1) 邦貨換算金額は、2015年9月7日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものであります。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## (3) 先物取引の銘柄別残高（評価額）

外 国	銘柄別	2015年9月7日現在	
		買建額	売建額
	T-NOTE(10YR) (アメリカ)	百万円 1,064	百万円 —
	T-NOTE(5YR) (アメリカ)	—	2,853
	T-NOTE(2YR) (アメリカ)	—	2,603
	BUND(10YR) (ドイツ)	1,029	—

(注1) 外貨建の評価額は、2015年9月7日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものであります。

(注2) 単位未満は切捨て。

## &lt;補足情報&gt;

当ファンド（6資産バランスファンド（分配型／成長型））が投資対象としている「ダイワ日本国債マザーファンド」の決算日（2015年3月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2015年9月7日現在におけるダイワ日本国債マザーファンドの組入資産の内容等を36～38ページに併せて掲載いたしました。

## ■ダイワ日本国債マザーファンドの主要な売買銘柄

## 公社債

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
230年国債 2.4% 2030/2/20	5,330,411	64 20年国債 1.9% 2023/9/20	2,251,990
111 20年国債 2.2% 2029/6/20	4,904,087	306 10年国債 1.4% 2020/3/20	1,379,443
330年国債 2.3% 2030/5/20	4,709,989	123 5年国債 0.1% 2020/3/20	1,299,302
313 10年国債 1.3% 2021/3/20	4,078,814	313 10年国債 1.3% 2021/3/20	1,278,992
94 20年国債 2.1% 2027/3/20	2,842,205	72 20年国債 2.1% 2024/9/20	1,153,680
130年国債 2.8% 2029/9/20	2,331,635	319 10年国債 1.1% 2021/12/20	1,063,004
123 5年国債 0.1% 2020/3/20	2,301,889	122 5年国債 0.1% 2019/12/20	600,066
61 20年国債 1% 2023/3/20	2,230,461	97 20年国債 2.2% 2027/9/20	592,460
107 20年国債 2.1% 2028/12/20	2,119,956	74 20年国債 2.1% 2024/12/20	577,190
110 20年国債 2.1% 2029/3/20	1,909,702	328 10年国債 0.6% 2023/3/20	511,570

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

下記は、2015年9月7日現在におけるダイワ日本国債マザーファンド（344,297,883千口）の内容です。

## (1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2015年9月7日現在							
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 367,891,000	千円 415,861,792	% 98.9	% —	% 66.9	% 19.3	% 12.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ日本国債マザーファンド

## (2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年9月7日現在							
区	分	銘	柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券				%	千円	千円	
		92 5年国債		0.3000	300,000	300,027	2015/09/20
		273 10年国債		1.5000	1,000,000	1,000,450	2015/09/20
		29 利付国債20年		4.2000	10,070,000	10,083,896	2015/09/21
		30 利付国債20年		3.7000	690,000	690,834	2015/09/21
		276 10年国債		1.6000	300,000	301,341	2015/12/20
		337 2年国債		0.1000	1,000,000	1,000,430	2016/02/15
		95 5年国債		0.6000	1,000,000	1,003,170	2016/03/20
		32 利付国債20年		3.7000	9,543,000	9,730,615	2016/03/21
		339 2年国債		0.1000	300,000	300,180	2016/04/15
		281 10年国債		2.0000	2,000,000	2,031,220	2016/06/20
		283 10年国債		1.8000	400,000	407,416	2016/09/20
		33 利付国債20年		3.8000	10,694,000	11,112,563	2016/09/20
		284 10年国債		1.7000	400,000	408,700	2016/12/20
		349 2年国債		0.1000	900,000	901,287	2017/02/15
		350 2年国債		0.1000	100,000	100,151	2017/03/15
		34 利付国債20年		3.5000	9,219,000	9,710,649	2017/03/20
		35 利付国債20年		3.3000	300,000	315,081	2017/03/20
		351 2年国債		0.1000	500,000	500,795	2017/04/15
		352 2年国債		0.1000	500,000	500,835	2017/05/15
		353 2年国債		0.1000	500,000	500,880	2017/06/15
		287 10年国債		1.9000	850,000	878,636	2017/06/20
		354 2年国債		0.1000	1,000,000	1,001,660	2017/07/15
		355 2年国債		0.1000	800,000	801,384	2017/08/15
		356 2年国債		0.1000	1,000,000	1,001,719	2017/09/15
		288 10年国債		1.7000	400,000	413,720	2017/09/20
		36 利付国債20年		3.0000	770,000	816,723	2017/09/20
		37 利付国債20年		3.1000	10,723,000	11,395,439	2017/09/20
		107 5年国債		0.2000	300,000	301,296	2017/12/20
		289 10年国債		1.5000	700,000	723,765	2017/12/20
		292 10年国債		1.7000	1,400,000	1,459,738	2018/03/20
		38 利付国債20年		2.7000	9,426,000	10,066,308	2018/03/20
		112 5年国債		0.4000	500,000	505,415	2018/06/20
		296 10年国債		1.5000	700,000	731,479	2018/09/20
		40 20年国債		2.3000	11,242,000	12,019,946	2018/09/20
		116 5年国債		0.2000	1,000,000	1,005,890	2018/12/20
		297 10年国債		1.4000	400,000	418,088	2018/12/20
		300 10年国債		1.5000	700,000	736,372	2019/03/20
		42 20年国債		2.6000	10,518,000	11,472,087	2019/03/20
		301 10年国債		1.5000	500,000	527,635	2019/06/20
		43 20年国債		2.9000	11,372,000	12,680,576	2019/09/20
		122 5年国債		0.1000	500,000	500,960	2019/12/20
		123 5年国債		0.1000	1,000,000	1,001,800	2020/03/20
		306 10年国債		1.4000	300,000	318,072	2020/03/20
		44 20年国債		2.5000	8,085,000	8,977,422	2020/03/20

2015年9月7日現在

区	分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
			%	千円	千円	
		46 20年国債	2.2000	3,500,000	3,856,335	2020/06/22
		47 20年国債	2.2000	6,600,000	7,303,164	2020/09/21
		48 20年国債	2.5000	5,701,000	6,426,680	2020/12/21
		313 10年国債	1.3000	2,600,000	2,773,732	2021/03/20
		49 20年国債	2.1000	4,618,000	5,131,706	2021/03/22
		51 20年国債	2.0000	4,900,000	5,439,784	2021/06/21
		52 20年国債	2.1000	7,868,000	8,814,205	2021/09/21
		319 10年国債	1.1000	400,000	424,960	2021/12/20
		54 20年国債	2.2000	5,487,000	6,207,936	2021/12/20
		55 20年国債	2.0000	4,904,000	5,508,368	2022/03/21
		56 20年国債	2.0000	5,870,000	6,616,370	2022/06/20
		58 20年国債	1.9000	7,975,000	8,964,538	2022/09/20
		59 20年国債	1.7000	4,895,000	5,445,246	2022/12/20
		61 20年国債	1.0000	5,900,000	6,268,514	2023/03/20
		63 20年国債	1.8000	6,408,000	7,204,258	2023/06/20
		64 20年国債	1.9000	6,185,000	7,015,954	2023/09/20
		65 20年国債	1.9000	4,477,000	5,092,721	2023/12/20
		68 20年国債	2.2000	5,105,000	5,945,946	2024/03/20
		70 20年国債	2.4000	8,688,000	10,296,843	2024/06/20
		72 20年国債	2.1000	3,900,000	4,531,137	2024/09/20
		74 20年国債	2.1000	4,815,000	5,607,549	2024/12/20
		75 20年国債	2.1000	4,474,000	5,224,647	2025/03/20
		77 20年国債	2.0000	736,000	852,265	2025/03/20
		80 20年国債	2.1000	10,423,000	12,193,555	2025/06/20
		82 20年国債	2.1000	4,365,000	5,112,593	2025/09/20
		83 20年国債	2.1000	4,850,000	5,686,479	2025/12/20
		86 20年国債	2.3000	5,750,000	6,870,847	2026/03/20
		88 20年国債	2.3000	8,960,000	10,730,048	2026/06/20
		91 20年国債	2.3000	6,600,000	7,920,528	2026/09/20
		92 20年国債	2.1000	3,170,000	3,741,487	2026/12/20
		94 20年国債	2.1000	5,900,000	6,974,331	2027/03/20
		95 20年国債	2.3000	8,105,000	9,782,086	2027/06/20
		97 20年国債	2.2000	6,340,000	7,588,853	2027/09/20
		99 20年国債	2.1000	2,800,000	3,324,048	2027/12/20
		101 20年国債	2.4000	5,560,000	6,809,220	2028/03/20
		102 20年国債	2.4000	8,720,000	10,690,632	2028/06/20
		106 20年国債	2.2000	5,540,000	6,663,567	2028/09/20
		107 20年国債	2.1000	4,400,000	5,240,752	2028/12/20
		110 20年国債	2.1000	6,400,000	7,624,832	2029/03/20
		111 20年国債	2.2000	7,450,000	8,978,367	2029/06/20
		1 30年国債	2.8000	9,650,000	12,405,268	2029/09/20
		115 20年国債	2.2000	2,800,000	3,378,116	2029/12/20
		2 30年国債	2.4000	6,300,000	7,776,783	2030/02/20
		3 30年国債	2.3000	3,900,000	4,759,872	2030/05/20
合計	銘柄数	88銘柄				
	金額			367,891,000	415,861,792	

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

## <補足情報>

当ファンド（6資産バランスファンド（分配型／成長型））が投資対象としている「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」の決算日（2015年3月16日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2015年9月7日現在におけるダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの組入資産の内容等を39～40ページに併せて掲載いたしました。

## ■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの主要な売買銘柄

### 投資信託証券

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

買			付			売			付		
銘	柄	口数	金額	平均単価		銘	柄	口数	金額	平均単価	
SIMON PROPERTY GROUP INC (アメリカ)		千口	千円	円		UNIBAIL-RODAMCO SE (フランス)		千口	千円	円	
		247,673	5,699,172	23,010				126,556	4,080,954	32,246	
HOST HOTELS & RESORTS INC (アメリカ)		1,945,971	4,912,967	2,524		GOODMAN GROUP (オーストラリア)		6,141,335	3,582,641	583	
HEALTH CARE REIT INC (アメリカ)		312,683	2,904,752	9,289		GECINA SA (フランス)		202,547	3,178,591	15,693	
SCENTRE GROUP (オーストラリア)		7,770,001	2,774,184	357		LAND SECURITIES GROUP PLC (イギリス)		1,250,748	3,127,370	2,500	
KLEPIERRE (フランス)		431,742	2,335,579	5,409		SUNSTONE HOTEL INVESTORS INC (アメリカ)		1,284,179	2,562,082	1,995	
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS (アメリカ)		458,896	2,092,907	4,560		EQUITY RESIDENTIAL (アメリカ)		245,618	2,251,378	9,166	
DDR CORP (アメリカ)		909,584	1,928,071	2,119		KEPPEL REIT (シンガポール)		19,400,56	2,127,599	109	
EQUITY RESIDENTIAL (アメリカ)		212,323	1,893,486	8,917		MACERICH CO/THE (アメリカ)		215,919	2,100,605	9,728	
EXTRA SPACE STORAGE INC (アメリカ)		211,331	1,791,967	8,479		HOME PROPERTIES INC (アメリカ)		222,203	1,950,996	8,780	
STRATEGIC HOTELS & RESORTS I (アメリカ)		989,095	1,584,476	1,601		DOUGLAS EMMETT INC (アメリカ)		546,991	1,940,838	3,548	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

下記は、2015年9月7日現在におけるダイワ・グローバルREIT・マザーファンド（78,969,749千口）の内容です。

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	2015年9月7日現在			
	口数	評価額	外貨建金額	比率
不動産ファンド (アメリカ)	千口	千アメリカ・ドル	千円	%
SIMON PROPERTY GROUP INC	399,022	69,796	8,310,720	5.7
BIOMED REALTY TRUST INC	802,742	14,537	1,730,998	1.2
APARTMENT INV'T & MGMT CO-A	954,954	33,280	3,962,667	2.7
VORNADO REALTY TRUST	388,714	33,009	3,930,452	2.7
MONOGRAM RESIDENTIAL TRUST I	730,575	6,677	795,084	0.5
QTS REALTY TRUST INC-CL A	245,463	9,838	1,171,429	0.8
EQUITY RESIDENTIAL	990,815	68,524	8,159,243	5.6
HOST HOTELS & RESORTS INC	1,897,583	32,638	3,886,257	2.7
PHYSICIANS REALTY TRUST	422,28	5,937	706,949	0.5
CYRUSONE INC	396,321	12,595	1,499,696	1.0
AMERICAN ASSETS TRUST INC	247,047	9,261	1,102,801	0.8
PARAMOUNT GROUP INC	1.196	18	2,238	0.0
SPIRIT REALTY CAPITAL INC	953,161	8,969	1,067,968	0.7
SUN COMMUNITIES INC	242,968	15,365	1,829,545	1.3
DDR CORP	1,692,407	25,047	2,982,420	2.0
HEALTH CARE REIT INC	515,194	31,643	3,767,757	2.6
KILROY REALTY CORP	287,052	18,204	2,167,650	1.5

ファンド名	2015年9月7日現在			
	口数	評価額	外貨建金額	比率
PENN REAL ESTATE INVEST TST	632,715	11,945	1,422,369	1.0
PS BUSINESS PARKS INC/CA	133,042	9,678	1,152,455	0.8
REGENCY CENTERS CORP	379,09	22,028	2,622,983	1.8
SL GREEN REALTY CORP	297,048	29,986	3,570,551	2.4
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	458,896	14,845	1,767,628	1.2
STRATEGIC HOTELS & RESORTS I	989,095	13,451	1,601,692	1.1
CUBESMART	873,055	21,381	2,545,849	1.7
EXTRA SPACE STORAGE INC	562,291	40,158	4,781,711	3.3
EDUCATION REALTY TRUST INC	425,867	12,013	1,430,472	1.0
DIAMONDROCK HOSPITALITY CO	1,331,161	14,988	1,784,725	1.2
DCT INDUSTRIAL TRUST INC	297,319	9,341	1,112,323	0.8
RETAIL PROPERTIES OF AME - A	937,271	12,362	1,472,015	1.0
アメリカ・ドル	口数	金額	外貨建金額	%
通貨	計	18,484,344	607,530	72,338,659
		29銘柄		<49.6%>
(カナダ)	千口	千カナダ・ドル	千円	%
ALLIED PROPERTIES REAL ESTAT	241,654	8,262	740,867	0.5
カナダ・ドル	口数	金額	外貨建金額	%
通貨	計	241,654	8,262	740,867
		1銘柄		< 0.5% >

ファンド名		2015年9月7日現在				
口数	評価額	外貨建金額		邦貨換算金額		比率
千口	千オーストラリア・ドル	千円		%		
NATIONAL STORAGE REIT	5,096.844	7,543	622,701		0.4	
SCENTRE GROUP	14,050.055	52,547	4,337,771		3.0	
WESTFIELD CORP	8,579.776	82,194	6,785,135		4.7	
GOODMAN GROUP	2,846.861	16,454	1,358,348		0.9	
FEDERATION CENTRES	19,508.797	53,649	4,428,740		3.0	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	34,250.764	15,241	1,258,193		0.9	
オーストラリア・ドル 通貨計	□数、金額 銘柄数<比率>	84,333.097	227,630	18,790,891		<12.9%>
			6銘柄			
(香港)	千口	千香港ドル	千円		%	
FORTUNE REIT	14,784.07	110,141	1,691,770		1.2	
LINK REIT	5,046.92	207,176	3,182,224		2.2	
CHAMPION REIT	14,763.376	56,986	875,314		0.6	
香港ドル 通貨計	□数、金額 銘柄数<比率>	34,594.366	374,304	5,749,309		< 3.9%>
			3銘柄			
(シンガポール)	千口	千シンガポール・ドル	千円		%	
KEPPEL DC REIT	18,142.271	18,323	1,532,227		1.1	
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	11,177.6	24,255	2,028,235		1.4	
FRASERS CENTREPOINT TRUST	6,938.4	13,217	1,105,260		0.8	
シンガポール・ドル 通貨計	□数、金額 銘柄数<比率>	36,258.271	55,796	4,665,723		< 3.2%>
			3銘柄			
(イギリス)	千口	千イギリス・ポンド	千円		%	
LAND SECURITIES GROUP PLC	3,324.289	40,589	7,342,247		5.0	
HAMMERMSON PLC	4,685.511	28,698	5,191,317		3.6	
DERWENT LONDON PLC	453.832	16,160	2,923,355		2.0	
BIG YELLOW GROUP PLC	1,852.718	12,348	2,233,695		1.5	
イギリス・ポンド 通貨計	□数、金額 銘柄数<比率>	10,316.35	97,797	17,690,616		<12.1%>
			4銘柄			
ユーロ（オランダ）	千口	千ユーロ	千円		%	
WERELDHAVE NV	580.313	29,387	3,907,596		2.7	
NSI NV	2,555.002	9,325	1,240,045		0.9	
国小計	□数、金額 銘柄数<比率>	3,135.315	38,712	5,147,642		< 3.5%>
			2銘柄			
ユーロ（ベルギー）	千口	千ユーロ	千円		%	
WAREHOUSES DE PAUW SCA	83,943	5,761	766,152		0.5	
国小計	□数、金額 銘柄数<比率>	83,943	5,761	766,152		< 0.5%>
			1銘柄			
ユーロ（フランス）	千口	千ユーロ	千円		%	
KLEPIERRE	1,587.659	61,617	8,193,218		5.6	
FONCIERE DES REGIONS	299.95	22,412	2,980,158		2.0	
国小計	□数、金額 銘柄数<比率>	1,887.609	84,029	11,173,377		< 7.7%>
			2銘柄			
ユーロ（ドイツ）	千口	千ユーロ	千円		%	
ALSTRIA OFFICE REIT-AG	995.916	11,711	1,557,340		1.1	
国小計	□数、金額 銘柄数<比率>	995.916	11,711	1,557,340		< 1.1%>
			1銘柄			
ユーロ（スペイン）	千口	千ユーロ	千円		%	
LAR ESPANA REAL ESTATE SOCIMI	1,300.222	11,636	1,547,370		1.1	
MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	875.059	9,039	1,201,963		0.8	
国小計	□数、金額 銘柄数<比率>	2,175.281	20,676	2,749,333		< 1.9%>
			2銘柄			

ファンド名		2015年9月7日現在				
口数	評価額	外貨建金額		邦貨換算金額		比率
ユーロ（イタリア）	千口	千ユーロ	千円		%	
BENI STABILI SPA	19,533.668	13,282	1,766,226		1.2	
国小計	□数、金額 銘柄数<比率>	19,533.668	13,282	1,766,226		< 1.2%>
			1銘柄			
ユーロ通貨計	□数、金額 銘柄数<比率>	27,811.732	174,175	23,160,073		<15.9%>
			9銘柄			
合計	□数、金額 銘柄数<比率>	212,039.814	—	143,136,141		<98.1%>
			55銘柄			

(注1) 邦貨換算金額は、2015年9月7日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワJ－REITアクティブ・マザーファンド

## ＜補足情報＞

当ファンド（6資産バランスファンド（分配型／成長型））が投資対象としている「ダイワJ－REITアクティブ・マザーファンド」の決算日（2015年5月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2015年9月7日現在におけるダイワJ－REITアクティブ・マザーファンドの組入資産の内容等を41ページに併せて掲載いたしました。

## ■ダイワJ－REITアクティブ・マザーファンドの主要な売買銘柄 投資信託証券

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

買		付		売		付			
銘	柄	口数	金額	平均単価	銘	柄	口数	金額	平均単価
GLP投資法人		千口	千円	円	グローバル・ワン不動産投資法人		千口	千円	円
MCUBS MidCity投資法人	12.374	1,523,720	123,138		2	899,635	449,817		
いちごオフィスリート投資法人	4.06	1,391,085	342,632		4.5	662,318	147,181		
NMF投資法人	15	1,303,393	86,892		4	641,626	160,406		
野村不動産オフィスF	8	1,167,099	145,887		2.9	639,960	220,676		
日本賃貸住宅投資法人	2.1	1,125,853	536,120		2	478,283	239,141		
アドバンス・レジデンス	13	1,015,551	78,119		0.8	431,570	539,462		
野村不レジデンシャル	3.5	913,451	260,986		0.3	428,737	1,429,126		
ジャパン・ホテル・リート投資法人	1.3	850,664	654,357		1	393,656	393,656		
ジャパンリアルエステイト	9.729	824,187	84,714		0.702	385,780	549,544		
	1.4	784,821	560,586		0.6	376,838	628,064		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

下記は、2015年9月7日現在におけるダイワJ－REITアクティブ・マザーファンド（33,766,319千口）の内容です。

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	2015年9月7日現在			
	口数	評価額	比率	率
不動産投信	千口	千円	%	%
日本アコモーションファンド投資法人	3	1,137,000	1.7	
MCUBS MidCity投資法人	5.2	1,452,880	2.2	
森ビルズリート	8.5	1,121,150	1.7	
野村不レジデンシャル	1.5	834,000	1.3	
産業ファンド	2.2	1,031,800	1.6	
大和ハウスリース	2	807,000	1.2	
アドバンス・レジデンス	8	1,898,400	2.9	
ケネディスクスレジデンシャル	3.5	935,200	1.4	
API投資法人	2.3	2,116,000	3.2	
GLP投資法人	20.3	2,143,680	3.3	
コンフォリア・レジデンシャル	3	579,600	0.9	
日本プロロジスリート	9	1,821,600	2.8	
NMF投資法人	15	1,876,500	2.9	
星野リゾート・リート	0.5	553,500	0.8	
SIA不動産投資	1	393,500	0.6	
イオンリート投資	4	528,400	0.8	
ヒューリックリート投資法	5	645,000	1.0	
日本リート投資法人	4	948,000	1.5	
インベスコ・オフィス・リート	20	1,776,000	2.7	
積木ハウス・リート投資	9	1,014,300	1.6	
トーセイ・リート投資法人	6	675,000	1.0	
ケネディスクス商業リート	4	918,400	1.4	
ヘルスケア＆メディカル投資	3	301,200	0.5	
サムティ・レジデンシャル	1	76,900	0.1	
日本ビルファンド	6.2	3,131,000	4.8	
ジャパンリアルエステイト	8.2	4,149,200	6.4	
日本リテールファンド	10.29	2,137,233	3.3	

ファンド名	2015年9月7日現在			
	口数	評価額	比率	率
オリックス不動産投資	千口	千円	%	%
日本プライムリアルティ	14	2,058,000	3.2	
プレミア投資法人	6.5	2,323,750	3.6	
東急リアル・エステート	1.9	1,054,500	1.6	
グローバル・ワン不動産投資法人	3	399,900	0.6	
野村不動産オフィスF	2.85	957,600	1.5	
ユナイテッド・アーバン投資法人	3	1,351,500	2.1	
森トラスト総合リート	16	2,310,400	3.5	
インヴィンシブル投資法人	7	1,412,600	2.2	
フロンティア不動産投資	36	2,448,000	3.8	
平和不動産リート	2	874,000	1.3	
日本ロジスティクスファンド投資法人	1	79,400	0.1	
福岡リート投資法人	6.5	1,313,650	2.0	
ケネディスクス・オフィス投資法人	3	535,200	0.8	
積木ハウス・SIA レジデンシャル投資法人	3	1,503,000	2.3	
いちごオフィスリート投資法人	3	314,100	0.5	
大和証券オフィス投資法人	18	1,434,600	2.2	
阪急リート投資法人	3	1,602,000	2.5	
トップリート投資法人	1.5	165,450	0.3	
大和ハウス・レジデンシャル投資法人	3	1,365,000	2.1	
ジャパン・ホテル・リート投資法人	2	442,600	0.7	
日本賃貸住宅投資法人	32	2,307,200	3.5	
ジャパンエクセレンツ投資法人	24	1,692,000	2.6	
合計	362,94	63,567,893	<97.5%>	
	銘柄数	50銘柄		

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

## 運用報告書 第20期（決算日 2015年4月10日）

(計算期間 2014年10月11日～2015年4月10日)

ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの第20期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債等
運用方法	<p>①主として海外のソブリン債等（国債、政府機関債、中央政府により発行・保証された債券、国際機関債など）に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②海外のソブリン債等への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 米ドル、カナダ・ドルおよびオーストラリア・ドル等をドル通貨圏、ユーロ、ポンド、北欧通貨および東欧通貨等を欧州通貨圏とし、2通貨圏への投資割合をそれぞれ信託財産の純資産総額の50%程度ずつとすることを基本とします。</p> <p>※北欧通貨：スウェーデン・クローネ、デンマーク・クローネ、ノルウェー・クローネ</p> <p>※東欧通貨：ハンガリー・フォリント、ポーランド・ズロチ、チェコ・コルナ等</p> <p>ロ. ドル通貨圏内では米ドルへの投資割合を50%程度、欧州通貨圏内ではユーロへの投資割合を50%程度とすることを基本とします（ただし、欧州通貨圏の投資対象通貨がユーロに統合される場合は、統合される通貨で実際に投資されている比率をユーロで実際に投資されている比率に加算した比率に基づいて、配分比率を見直します。）。</p> <p>ハ. 国債については、取得時においてA格相当以上（ムーディーズでA3以上またはS&amp;PでA-以上）とすることを基本とします。国債を除く投資対象の格付けは、取得時においてAA格相当以上（ムーディーズでAa3以上またはS&amp;PでAA-以上）とすることを基本とします。</p> <p>ニ. ポートフォリオの修正デュレーションは5（年）程度から10（年）程度の範囲を基本とします。</p> <p>ホ. 金利リスク調整のため、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建の国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③為替については、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建資産の投資比率合計を、信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

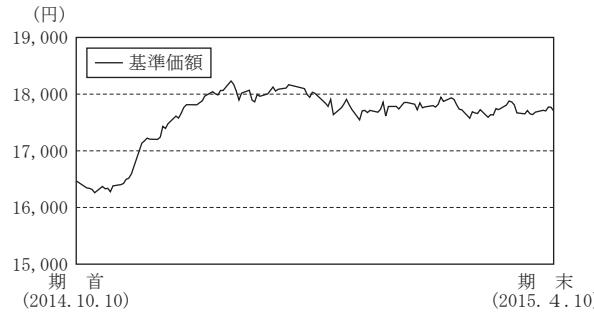
**大和投資信託**

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額	シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		公 社 債 組入比率
		騰 落 率 (参考指数)	騰 落 率	
(期首) 2014年10月10日	16,469	% —	% 15,409 —	94.8
10月末	16,592	0.7	0.6 15,495	96.0
11月末	17,967	9.1	9.1 16,818	94.4
12月末	18,167	10.3	10.7 17,059	95.1
2015年1月末	17,714	7.6	7.2 16,519	94.2
2月末	17,872	8.5	7.7 16,596	96.3
3月末	17,711	7.5	6.9 16,473	95.5
(期末) 2015年4月10日	17,703	7.5	6.7 16,446	97.8

(注1) 謙落率は期首比。

(注2) シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したもの。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・謙落率】

期首：16,469円 期末：17,703円 謙落率：7.5%

#### 【基準価額の主な変動要因】

海外の債券に投資した結果、投資国で金利低下（債券価格は上昇）したことや債券の利息收入を得たことがプラスの寄与となりました。また、投資対象通貨の対円での値上がり（円安）と値下がり（円高）はまちまちでしたが、全体ではプラスの寄与となり、基準価額は値上がりしました。

### ◆投資環境について

#### ○海外債券市況

海外債券市況は、期首より、原油価格下落傾向が強まったほか、米国以外の地域での景気の鈍化、2014年10月末の日銀の追加金融緩和、2015年1月のECB（欧州中央銀行）の量的緩和決定を背景に、金利の低下基調が継続しました。この間、原油価格の下落による各国の物価指標への低下圧力が顕在化したことで、ノルウェーやカナダ、オーストラリアを含む複数の国が利下げに踏み切りました。また、ロシアの金融情勢の緊迫化や欧州のギリシャ支援をめぐる不透明感の強まりも、安全資産需要を通じて金利を下押ししました。2月に入ると、米国の堅調な雇用環境から米国の利上げ観測が高まり金利

はいったん反発し上昇しましたが、3月には欧州でのECBによる量的緩和開始や北米地域の景気鈍化を背景に、金利は再び低下傾向に転じました。

### ○為替相場

為替相場は、期首より、米国の金融緩和縮小の進展や将来の利上げ観測の高まり、また米国政府高官の米ドル高容認発言を材料に、米ドルが独歩高となりました。対照的に、物価の低迷を背景に国債購入策を含む量的金融緩和の導入決定に至ったユーロは下落しました。日本については、公的年金の運用比率変更や日銀の追加金融緩和を材料に、2014年12月までは円安が進行しました。それ以降は、原油価格の下落が加速したことを背景に各國が金融緩和による対応を進めたため、米ドル以外の通貨が弱含みました。オーストラリア・ドルやカナダ・ドルなどの資源国の通貨は、それぞれ利下げを材料に下落しました。また欧州では、量的緩和が実行に移され利下げが大きく低下したほか、ギリシャ支援問題が再燃し、ユーロが下落しました。

### ◆前期における「今後の運用方針」

国外債券の通貨アロケーションに関しては、投資割合をドル通貨圏（米ドル、カナダ・ドル、オーストラリア・ドル）を50%程度、欧州通貨圏（ユーロ、英ポンド、北欧通貨、東欧通貨）を50%程度とします。また、ドル通貨圏内では米ドルへの投資割合を50%程度、欧州通貨圏内ではユーロへの投資割合を50%程度とします。ドル通貨圏内における米ドル以外の通貨の投資割合および欧州通貨圏内におけるユーロ以外の通貨の投資割合については、債券市場の規模を参考にしながら、各國の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し、状況に応じて変動させます。

債券ポートフォリオに関しては、海外の国債を中心に投資しますが、状況に応じてスプレッド水準が魅力的な政府保証債や国際機関債への投資も行なう可能性があります。ポートフォリオの修正デュレーションについては、5（年）程度～10（年）程度の範囲の中で、各國の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し、状況に応じて変動させます。

### ◆ポートフォリオについて

債券は、海外の国債を中心に投資する一方、一部の国で政府保証債や国際機関債にも投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で変動させました。地政学リスクの高まりや原油価格下落によるインフレ圧力の後退を背景に金利が低下するとの見通しが強まった局面では、デュレーションを長期化しました。一方で、米国の金融政策正常化や利上げ観測により金利が上昇すると見通しが強まった局面では、当該通貨のデュレーションを短期化しました。

通貨の投資割合は、ドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度としつつ、実質外貨比率を高位に保ちました。各通貨の市場動向、信用力や経済環境の評価に応じて、投資割合を変動させました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の謙落率は、それぞれ7.5%、6.7%となりました。

当ファンドは、運用方針により、参考指数と比較して米ドルおよびユーロの組入比率が低いことと、信用格付がA格相当に満たない一部の国が投資対象に含まれないという特徴があります。参考指数は先進国の外国債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

**《今後の運用方針》**

債券は、取得時に信用格付A格相当以上の海外の国債を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、各国の市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて変動させます。通貨の投資割合は各通貨の市場動向、信用力や経済環境の評価に応じて変動させます。ドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度とします。

**■ 1万口当りの費用の明細**

項目	当期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	4 (4)
合計	4

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

**■ 売買および取引の状況****公社債**

(2014年10月11日から2015年4月10日まで)

		買付額	売付額
外 アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 501,952	千アメリカ・ドル 552,442 ( 3,721)
	国債証券	千カナダ・ドル 284,131	千カナダ・ドル 265,267 ( — )
	特殊債券	69,706	59,388 ( — )
カナダ オーストラリア	国債証券	千オーストラリア・ドル 508,094	千オーストラリア・ドル 499,834 ( — )
	イギリス	千イギリス・ポンド 155,987	千イギリス・ポンド 135,193 ( — )

**■ 主要な売買銘柄****公社債**

(2014年10月11日から2015年4月10日まで)

買 銘	付 柄	金 額	当	期
銘	柄	金額	買付額	売付額
United Kingdom Gilt (イギリス) 5% 2025/3/7		12,354,232	千円	IRISH TREASURY (アイルランド) 3.4% 2024/3/18
GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 6.25% 2030/1/4		10,541,641		13,442,875
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2024/11/15		7,964,159		11,010,820
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2.5% 2024/6/1		7,644,508		10,550,809
Poland Government Bond (ポーランド) 5.75% 2029/4/25		7,409,046		10,483,585
GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 3.25% 2021/7/4		6,810,950		7,960,366
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 4.5% 2020/4/15		6,163,455		7,759,686
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3.5% 2020/6/1		6,062,802		6,696,311
IRISH TREASURY (アイルランド) 5.4% 2025/3/13		5,900,335		6,684,692
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3.25% 2025/4/21		5,652,001		6,661,858
United Kingdom Gilt (イギリス) 5% 2025/3/7		12,354,232	千円	GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 3.25% 2021/7/4
GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 6.25% 2030/1/4		10,541,641		6,661,858
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2024/11/15		7,964,159		6,558,754
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2.5% 2024/6/1		7,644,508		
Poland Government Bond (ポーランド) 5.75% 2029/4/25		7,409,046		
GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 3.25% 2021/7/4		6,810,950		
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 4.5% 2020/4/15		6,163,455		
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3.5% 2020/6/1		6,062,802		
IRISH TREASURY (アイルランド) 5.4% 2025/3/13		5,900,335		
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3.25% 2025/4/21		5,652,001		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

外 デンマーク	国債証券	買付額 千デンマーク・クローネ 66,409	売付額 千デンマーク・クローネ 32,892 ( — )
ノルウェー	国債証券	千ノルウェー・クローネ 341,242	千ノルウェー・クローネ 349,922 ( — )
スウェーデン	国債証券	千スウェーデン・クローネ 547,537	千スウェーデン・クローネ 583,931 ( — )
ポーランド	国債証券	千ポーランド・ズロチ 824,900	千ポーランド・ズロチ 868,981 ( — )
ユーロ (アイルランド)	国債証券	千ユーロ 131,685	千ユーロ 193,092 ( — )
ユーロ (オランダ)	国債証券	千ユーロ 11,861	千ユーロ — ( — )
ユーロ (ベルギー)	国債証券	千ユーロ 26,580	千ユーロ 52,750 ( — )
ユーロ (ルクセンブルグ)	特殊債券	千ユーロ 11,012	千ユーロ 7,296 ( — )
ユーロ (フランス)	国債証券	千ユーロ 47,456	千ユーロ 30,150 ( — )
ユーロ (ドイツ)	国債証券	千ユーロ 206,176	千ユーロ 185,145 ( — )
ユーロ (その他)	国債証券	千ユーロ 19,945	千ユーロ — ( — )
ユーロ (ユーロ 通貨計)	国債証券	千ユーロ 443,705	千ユーロ 461,138 ( — )
	特殊債券	11,012	7,296 ( — )

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

## ■組入資産明細表

### (1) 外国(外貨建)公社債(通貨別)

作成期	区分	額面金額	当期						期末		
			評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別		組入比率		
			外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満		
アメリカ	千アメリカ・ドル	80,000	千アメリカ・ドル	9,896,925	%	%	%	%	%	%	%
カナダ	千カナダ・ドル	75,000	千カナダ・ドル	82,125	16.3	—	16.3	—	—	—	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル	49,000	千オーストラリア・ドル	60,877	7,883,268	13.0	—	9.0	2.4	—	1.6
イギリス	千イギリス・ポンド	46,500	千イギリス・ポンド	56,165	9,962,119	16.4	—	16.4	—	—	—
デンマーク	千デンマーク・クローネ	30,000	千デンマーク・クローネ	34,644	596,228	1.0	—	1.0	—	—	—
ノルウェー	千ノルウェー・クローネ	25,000	千ノルウェー・クローネ	27,775	413,847	0.7	—	0.7	—	—	—
スウェーデン	千スウェーデン・クローネ	155,000	千スウェーデン・クローネ	187,040	2,575,544	4.2	—	4.2	—	—	—
ボーランド	千ボーランド・ズロチ	80,000	千ボーランド・ズロチ	93,110	2,973,946	4.9	—	4.9	—	—	—
ユーロ(アイルランド)	千ユーロ	43,000	千ユーロ	54,533	7,012,982	11.6	—	11.6	—	—	—
ユーロ(オランダ)	千ユーロ	10,000	千ユーロ	11,888	1,528,873	2.5	—	2.5	—	—	—
ユーロ(ベルギー)	千ユーロ	3,000	千ユーロ	5,219	671,280	1.1	—	1.1	—	—	—
ユーロ(ルクセンブルク)	千ユーロ	3,000	千ユーロ	4,216	542,187	0.9	—	0.9	—	—	—
ユーロ(フランス)	千ユーロ	12,500	千ユーロ	17,828	2,292,694	3.8	—	3.8	—	—	—
ユーロ(ドイツ)	千ユーロ	28,500	千ユーロ	36,042	4,635,072	7.6	—	7.6	—	—	—
ユーロ(その他)	千ユーロ	17,000	千ユーロ	20,727	2,665,552	4.4	—	4.4	—	—	—
ユーロ(小計)		117,000		150,456	19,348,644	31.9	—	31.9	—	—	—
合計		—		—	59,310,302	97.8	—	92.3	2.4	—	3.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもの。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 外国(外貨建)公社債(銘柄別)

区分	銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
					千円	千円	
アメリカ	US Treasury Inflation Indexed Bonds	国債証券	%	千アメリカ・ドル	千円		
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	32,000	32,122	3,871,051	2025/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	30,000	29,404	3,543,536	2045/02/15
	Mexico Government International Bond	国債証券	4.7500	6,000	6,292	758,309	2044/03/08
	Mexico Government International Bond	国債証券	4.6000	4,000	4,090	492,885	2046/01/23
	Peruvian Government International Bond	国債証券	7.3500	4,000	5,470	659,189	2025/07/21
通貨小計	6銘柄				80,000	82,125	9,896,925
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	8.0000	千カナダ・ドル	千円		
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.5000	10,000	3,068	293,640	2023/06/01
					10,053	962,009	2015/06/01

区分		銘柄	種類	年利率	額面金額	期末		償還年月日	
						評価額	外貨建金額		
		CANADIAN GOVERNMENT BOND CANADIAN GOVERNMENT BOND CANADIAN GOVERNMENT BOND CANADA HOUSING TRUST Japan Bank For International Cooperation INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT EUROPEAN INVESTMENT BANK	国債証券 国債証券 国債証券 特殊債券 特殊債券 特殊債券 特殊債券	% 3.5000 3.5000 2.5000 2.5500 2.3000 1.1250 1.1250	千カナダ・ドル 25,000 3,000 8,000 12,000 5,000 5,000 5,000	千カナダ・ドル	千円 28,398 4,009 8,856 12,825 5,171 4,991 5,008	2,717,452 383,669 847,430 1,227,281 494,865 477,617 479,301	2020/06/01 2045/12/01 2024/06/01 2025/03/15 2018/03/19 2020/03/11 2020/02/18
通貨小計	銘柄数 金額					9銘柄	75,000	82,383	7,883,268
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.5000 5.5000 4.7500 3.2500 4.5000 3.0000 4.0000	千オーストラリア・ドル 8,000 8,000 10,000 6,000 8,000 5,000 4,000	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル 8,996 9,921 10,149 6,482 10,031 7,461 7,834	836,410 922,403 943,589 602,707 932,622 693,709 728,334	2020/04/15 2023/04/21 2015/10/21 2025/04/21 2033/04/21 2025/09/20 2020/08/20
通貨小計	銘柄数 金額					7銘柄	49,000	60,877	5,659,778
		United Kingdom Gilt United Kingdom Gilt United Kingdom Gilt United Kingdom Gilt United Kingdom Gilt United Kingdom Gilt United Kingdom Gilt	国債証券	2.0000 5.0000 4.0000 3.2500 2.7500 3.5000	千イギリス・ポンド 8,500 21,500 5,000 2,000 7,000 2,500	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド 8,850 28,216 5,886 2,388 7,695 3,128	1,569,759 5,004,778 1,044,088 423,630 1,365,004 554,857	2020/07/22 2025/03/07 2022/03/07 2044/01/22 2024/09/07 2045/01/22
通貨小計	銘柄数 金額					6銘柄	46,500	56,165	9,962,119
		DANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.7500	30,000	千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ 34,644	596,228	2025/11/15
通貨小計	銘柄数 金額								
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	3.6250	25,000	千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ 27,775	413,847	2020/06/22
通貨小計	銘柄数 金額								
		Sweden Inflation Linked Bond SWEDISH GOVERNMENT BOND SWEDISH GOVERNMENT BOND SWEDISH GOVERNMENT BOND SWEDISH GOVERNMENT BOND	国債証券	0.2500 5.0000 3.5000 1.5000 2.5000	千スウェーデン・クローネ 10,000 45,000 10,000 60,000 30,000	千スウェーデン・クローネ	千スウェーデン・クローネ 11,167 57,721 15,642 66,208 36,300	153,772 794,818 215,398 911,695 499,859	2022/06/01 2020/12/01 2039/03/30 2023/11/13 2025/05/12
通貨小計	銘柄数 金額					5銘柄	155,000	187,040	2,575,544
		Poland Government Bond Poland Government Bond	国債証券	5.2500 4.0000	60,000 20,000	千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ 70,333 22,776	2,246,461 727,484	2020/10/25 2023/10/25
通貨小計	銘柄数 金額					2銘柄	80,000	93,110	2,973,946
		IRISH TREASURY	国債証券	5.4000	13,000	千ユーロ	千ユーロ 18,795	2,417,055	2025/03/13
通貨小計	銘柄数 金額								

ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

当		期				末	
区分		銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
				%	千ユーロ	千円	
国小計		IRISH TREASURY	国債証券	2.4000	12,000	14,313	2030/05/15
		IRISH TREASURY	国債証券	2.0000	6,000	6,844	2045/02/18
		IRISH TREASURY	国債証券	4.5000	12,000	14,579	2020/04/18
国小計	銘柄数 金額	4銘柄			43,000	54,533	7,012,982
ユーロ(オランダ)		NETHERLANDS GOVERNMENT BOND	国債証券	3.5000	10,000	11,888	2020/07/15
		1銘柄			10,000	11,888	1,528,873
					3,000	5,219	671,280
ユーロ(ベルギー)		Belgium Government Bond	国債証券	4.2500	3,000	千ユーロ 5,219	2041/03/28
		1銘柄			3,000	5,219	671,280
					3,000	4,216	542,187
ユーロ(ルクセンブルグ)		EU Stabilisation Fund	特殊債券	2.3500	3,000	千ユーロ 4,216	2044/07/29
		1銘柄			3,000	4,216	542,187
					3,000	17,828	2,292,694
ユーロ(フランス)		FRENCH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.8500	12,500	千ユーロ 17,828	2027/07/25
		1銘柄			12,500	17,828	2,292,694
					28,500	36,042	4,635,072
ユーロ(ドイツ)		DEUTSCHLAND I/L BOND	国債証券	0.1000	8,500	9,619	2023/04/15
		DEUTSCHLAND I/L BOND	国債証券	0.5000	10,000	12,492	2030/04/15
		DEUTSCHLAND I/L BOND	国債証券	1.7500	5,000	6,214	2020/04/15
国小計		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	6.2500	5,000	7,716	2024/01/04
		4銘柄			17,000	20,727	2,665,552
					117,000	150,456	19,348,644
通貨小計	銘柄数 金額	15銘柄					
合計	銘柄数 金額	52銘柄					59,310,302

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2015年4月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
公 社 債	59,310,302	94.6
コール・ローン等、その他	3,391,878	5.4
投 資 信 託 財 産 総 額	62,702,180	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建て資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=120.51円、1カナダ・ドル=95.69円、1オーストラリア・ドル=92.97円、1イギリス・ポンド=177.37円、1デンマーク・クローネ=17.21円、1ノルウェー・クローネ=14.90円、1スウェーデン・クローネ=13.77円、1チェコ・クロナ=4.69円、1ポーランド・ズロチ=31.94円、1ユーロ=128.60円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(60,705,114千円)の投資信託財産総額(62,702,180千円)に対する比率は、96.8%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年4月10日現在

項目	当期末
(A) 資 産	115,515,709,125円
コ 一 ル ・ 口 一 シ 等 社 未 収 入 金 未 収 利 息 前 払 費 用 未 払 債	1,114,390,896 59,310,302,126 54,551,455,934 177,915,910 361,644,259
(B) 負 産	54,878,363,394
未 払 約 金	54,690,003,394 188,360,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	60,637,345,731
元 本	34,253,194,785
次 期 繰 越 損 益 金	26,384,150,946
(D) 受 益 権 総 口 数	34,253,194,785口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,703円

\*期首における元本額は37,768,043,142円、当期中における追加設定元本額は260,667,886円、同解約元本額は3,775,516,243円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワFOF用外債ソブリン・オープン(適格機関投資家専用)3,029,481,655円、富山応援ファンド(地域企業株・外債バランス/毎月分配型)791,218,104円、北海道応援・外債バランスファンド(毎月分配型)1,633,343,710円、福島応援・外債バランスファンド(毎月分配型)255,090,449円、ダイワ外債ソブリン・オープン(毎月分配型)1,564,851,642円、ダイワ・バランス3資産(外債・海外リート・好配当日本株)69,974,578円、新潟県応援ファンド(外債バランス・毎月分配型)345,076,006円、安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)292,151,701円、インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)630,661,895円、成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)820,337,247円、F I Tネット・三県応援ファンド(毎月分配型)339,107,600円、長野応援ファンド(毎月分配型)461,780,311円、栃木応援・外債バランスファンド(毎月分配型)299,563,441円、京都応援バランスファンド(隔月分配型)360,214,573円、北東北三県応援・外債バランスファンド(毎月分配型)285,647,785円、6資産バランスファンド(分配型)1,796,077,184円、6資産バランスファンド(成長型)168,400,467円、ダイワ海外ソブリン・ファンド(毎月分配型)15,456,958,774円、富山応援ファンドPART2(地域企業株・外債バランス/隔月分配型)422,039,145円、奈良応援ファンド(外債バランス・毎月分配型)136,125,584円、ダイワ三資産分散ファンド(インカム・キャッシュ・外債・内リート)(隔月分配型)366,577,847円、世界6資産均等分散ファンド(毎月分配型)132,648,489円、ダイワ外債ソブリン・ファンド(毎月分配型)1,617,169,037円、兵庫応援バランスファンド(毎月分配型)126,809,958円、『しがぎん』S R I 三資産バランス・オープン(奇数月分配型)39,994,151円、ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド415,662,565円、紀陽地域株式・外債バランスファンド(隔月分配型)213,116,879円、愛媛県応援ファンド(外債バランス・毎月分配型)103,661,476円、ダイワ資産分散インカムオーブン(奇数月決算型)1,887,452,834円、地球環境株・外債バランス・ファンド117,513,949円、ダイワ海外ソブリン・ファンド(1年決算型)74,385,749円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は17,703円です。

## ■損益の状況

当期 自2014年10月11日 至2015年4月10日

項目	当期
(A) 配 受 金	926,220,078円
取 払 利 利	926,249,959△ 29,881
(B) 有 債 証 券 売 買 損 益 損 益	3,720,437,784△ 10,353,099,651△ 6,632,661,867△ 13,742,884
(C) そ の 他 費 用	4,632,914,978△ 24,431,566,411△ 2,884,909,557△ 204,579,114
(D) そ の 他 損 益 金 (A+B+C)	26,384,150,946△ 26,384,150,946
(E) 当 前 紹 細 差 損 益 金	
(F) 当 前 紹 細 差 損 益 金	
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	
(H) 次 期 繰 越 損 益 金 (H)	

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ダイワ日本国債マザーファンド

## 運用報告書 第10期（決算日 2015年3月10日）

(計算期間 2014年3月11日～2015年3月10日)

ダイワ日本国債マザーファンドの第10期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の国債を投資対象とし、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の公社債
運用方法	<p>①主としてわが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。</p> <p>②わが国の国債への投資にあたっては、原則として、最長15年程度までの国債を、各残存期間毎の投資金額がほぼ同程度となるように組入れます。</p> <p>③国債の組入れは原則として高位を保ちます。</p> <p>④運用の効率化を図るため、債券先物取引等を利用することがあります。このため、公社債の組入総額ならびに債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

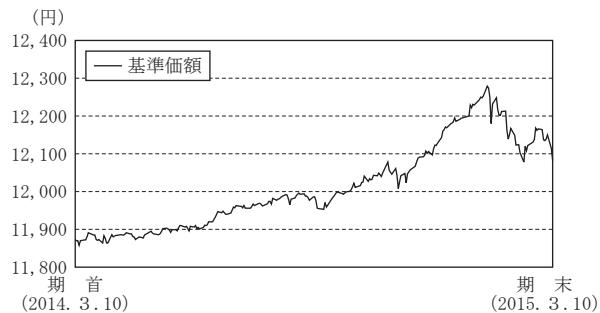
**大和投資信託**

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	債券先物 比
	騰 落 率	(参考指標)		
(期首)2014年3月10日	11,873	%	98.7	%
3月末	11,864	△0.1	11,844	△0.1
4月末	11,878	0.0	11,862	0.0
5月末	11,910	0.3	11,899	0.3
6月末	11,944	0.6	11,935	0.6
7月末	11,962	0.7	11,954	0.8
8月末	11,993	1.0	11,997	1.2
9月末	11,995	1.0	12,005	1.2
10月末	12,049	1.5	12,065	1.7
11月末	12,091	1.8	12,145	2.4
12月末	12,194	2.7	12,285	3.6
2015年1月末	12,212	2.9	12,287	3.6
2月末	12,166	2.5	12,212	3.0
(期末)2015年3月10日	12,082	1.8	12,113	2.1

(注1) 謙落率は期首比。

(注2) ダイワ・ボンド・インデックス国債指数は、ダイワ・ボンド・インデックス国債指数の原データに基づき、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

ダイワ・ボンド・インデックスは、大和総研が開発した日本における確定利付債券市場のパフォーマンスを測定する指標であり、対象となる債券の時価総額加重方式による累積投資収益率指標です。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除く。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・謙落率】

期首：11,873円 期末：12,082円 謙落率：1.8%

#### 【基準価額の主な変動要因】

主としてわが国の国債に投資した結果、国債からの利息収入を得るとともに金利水準の低下による国債の値上がり益が発生したことが寄与し、基準価額は値上がりしました。

### ◆投資環境について

#### ○国内債券市況

国内長期金利は、期首より横ばい圏での推移で始まりましたが、2014年6月半ば以降は、良好な国債需給が反映され始め世界的に株価が不安定化する中、欧米の長期金利低下もあり8月末にかけて低下しました。9月に入ると、国内長期金利はいったん上昇しましたが、9月半ば以降は、地政学的な緊張や世界経済の鈍化懸念などから低下に転じ、10月末には日銀が量的・質的金融緩和を拡大したこ

とから、11月初めに一段と低下しました。その後の国内長期金利は11月半ばにかけていったん上昇しましたが、引締まつた国債需給を背景に再び低下に転じ、欧米長期金利が大幅に低下する中、日銀の追加緩和への思惑もあって2015年1月にかけて低下基調を強めました。日銀が金融政策を据え置く中、1月下旬に、国内長期金利は、流動性の低下した国債市場での一時的な需給悪化を契機に、乱高下を交えながら2月半ばにかけて急上昇し、その後も不安定な推移が続く中で期末を迎きました。

### ◆前期における「今後の運用方針」

わが国の国債を投資対象とし、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざします。そのため、国債の組入れは原則として高位を保ちながら、残存年限が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの投資金額がほぼ同程度となるようにポートフォリオを構築する方針を継続いたします。

### ◆ポートフォリオについて

運用の基本方針に基づき、期を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ないました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドの基準価額と参考指標の謙落率は、それぞれ1.8%、2.1%となりました。

当ファンドは運用スキーム上、参考指標と比較して残存15年以上の国債の組入れがないという特徴があります。参考指標は国内債券市場の動向を表す代表的な指標として掲載しております。

## 《今後の運用方針》

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行なってまいります。

## ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

## ■売買および取引の状況

### 公 社 債

(2014年3月11日から2015年3月10日まで)

国 内	国 債 証 券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		146,959,844	58,635,135 (20,038,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

# ダイワ日本国債マザーファンド

## ■主要な売買銘柄

### 公社債

(2014年3月11日から2015年3月10日まで)

当 期				
買 付	売 付			
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額	
	千円		千円	
111 20年国債	2.2% 2029/6/20	10,091,092	47 20年国債 2.2% 2020/9/21	6,094,051
1 30年国債	2.8% 2029/9/20	9,971,318	111 20年国債 2.2% 2029/6/20	6,045,360
110 20年国債	2.1% 2029/3/20	6,507,312	64 20年国債 1.9% 2023/9/20	5,396,037
80 20年国債	2.1% 2025/6/20	5,886,990	65 20年国債 1.9% 2023/12/20	3,494,112
64 20年国債	1.9% 2023/9/20	5,587,340	44 20年国債 2.5% 2020/3/20	2,822,995
74 20年国債	2.1% 2024/12/20	4,946,476	83 20年国債 2.1% 2025/12/20	2,622,830
47 20年国債	2.2% 2020/9/21	4,922,745	49 20年国債 2.1% 2021/3/22	2,465,811
61 20年国債	1% 2023/3/20	4,170,083	70 20年国債 2.4% 2024/6/20	2,395,540
46 20年国債	2.2% 2020/6/22	4,128,345	63 20年国債 1.8% 2023/6/20	2,229,405
115 20年国債	2.2% 2029/12/20	3,654,060	95 20年国債 2.3% 2027/6/20	2,071,597

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

### (1) 国内(邦貨建) 公社債 (種類別)

作成期		当 期			末		
区 分	額面金額	評 価 額	組入比率	うちB B 格 以 下 組入比率			残存期間別組入比率 5年以上 2年以上 2年未満
				5年以上	2年以上	2年未満	
国 債 証 券	千円	千円	%	%	%	%	%
	341,654,000	384,049,615	98.8	—	66.4	19.4	13.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 国内(邦貨建) 公社債 (銘柄別)

当 期			末		
区 分	銘 柄	年利率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	28 利付国債20年	5.0000	9,963,000	9,973,859	2015/03/20
	270 10年国債	1.3000	1,200,000	1,204,248	2015/06/20
	92 5年国債	0.3000	300,000	300,471	2015/09/20
	273 10年国債	1.5000	1,500,000	1,511,790	2015/09/20
	29 利付国債20年	4.2000	10,070,000	10,293,050	2015/09/21
	30 利付国債20年	3.7000	690,000	703,461	2015/09/21
	276 10年国債	1.6000	300,000	303,708	2015/12/20
	337 2年国債	0.1000	1,000,000	1,000,930	2016/02/15
	32 利付国債20年	3.7000	9,543,000	9,903,725	2016/03/21
	281 10年国債	2.0000	2,000,000	2,050,560	2016/06/20
	283 10年国債	1.8000	400,000	410,892	2016/09/20
	33 利付国債20年	3.8000	10,694,000	11,310,616	2016/09/20
	284 10年国債	1.7000	400,000	411,924	2016/12/20
	349 2年国債	0.1000	1,100,000	1,101,584	2017/02/15
	285 10年国債	1.7000	200,000	206,748	2017/03/20
	34 利付国債20年	3.5000	9,219,000	9,865,344	2017/03/20
	35 利付国債20年	3.3000	300,000	319,821	2017/03/20
	287 10年国債	1.9000	850,000	886,116	2017/06/20
	288 10年国債	1.7000	400,000	416,860	2017/09/20
	36 利付国債20年	3.0000	770,000	827,511	2017/09/20
	37 利付国債20年	3.1000	10,723,000	11,550,922	2017/09/20
	107 5年国債	0.2000	300,000	301,371	2017/12/20
	289 10年国債	1.5000	700,000	728,427	2017/12/20
	292 10年国債	1.7000	1,200,000	1,259,928	2018/03/20

区 分	銘 柄	年利率	当 期			末		
			額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	千円	千円	償還年月日
	38 利付国債20年	2.7000	9,426,000	10,181,211	2018/03/20			
	296 10年国債	1.5000	700,000	735,462	2018/09/20			
	40 20年国債	2.3000	11,242,000	12,125,846	2018/09/20			
	116 5年国債	0.2000	1,000,000	1,004,510	2018/12/20			
	42 20年国債	2.6000	10,518,000	11,571,272	2019/03/20			
	43 20年国債	2.9000	11,372,000	12,789,292	2019/09/20			
	122 5年国債	0.1000	800,000	798,480	2019/12/20			
	44 20年国債	2.5000	7,285,000	8,148,418	2020/03/20			
	46 20年国債	2.2000	3,500,000	3,877,825	2020/06/22			
	47 20年国債	2.2000	6,600,000	7,347,912	2020/09/21			
	48 20年国債	2.5000	5,701,000	6,472,117	2020/12/21			
	49 20年国債	2.1000	3,018,000	3,371,528	2021/03/22			
	51 20年国債	2.0000	4,900,000	5,463,647	2021/06/21			
	52 20年国債	2.1000	7,868,000	8,848,510	2021/09/21			
	319 10年国債	1.1000	1,400,000	1,484,714	2021/12/20			
	54 20年国債	2.2000	5,487,000	6,226,812	2022/12/20			
	55 20年国債	2.0000	4,304,000	4,835,630	2023/03/21			
	56 20年国債	2.0000	5,870,000	6,606,215	2022/06/20			
	58 20年国債	1.9000	7,975,000	8,930,484	2022/09/20			
	59 20年国債	1.7000	4,895,000	5,419,792	2022/12/20			
	61 20年国債	1.0000	3,800,000	4,005,200	2023/03/20			
	63 20年国債	1.8000	6,208,000	6,948,552	2023/06/20			
	64 20年国債	1.9000	8,185,000	9,239,146	2023/09/20			
	65 20年国債	1.9000	4,777,000	5,407,372	2023/12/20			
	68 20年国債	2.2000	4,205,000	4,876,790	2024/03/20			
	70 20年国債	2.4000	8,188,000	9,665,278	2024/06/20			
	72 20年国債	2.1000	4,900,000	5,661,754	2024/09/20			
	74 20年国債	2.1000	5,015,000	5,806,066	2024/12/20			
	75 20年国債	2.1000	3,974,000	4,609,402	2025/03/20			
	77 20年国債	2.0000	236,000	271,468	2025/03/20			
	80 20年国債	2.1000	10,423,000	12,105,793	2025/06/20			
	82 20年国債	2.1000	4,365,000	5,078,590	2025/09/20			
	83 20年国債	2.1000	3,350,000	3,903,989	2025/12/20			
	86 20年国債	2.3000	4,850,000	5,761,945	2026/03/20			
	88 20年国債	2.3000	7,460,000	8,878,817	2026/06/20			
	91 20年国債	2.3000	6,600,000	7,868,916	2026/09/20			
	92 20年国債	2.1000	2,970,000	3,477,157	2026/12/20			
	94 20年国債	2.1000	3,700,000	4,334,476	2027/03/20			
	95 20年国債	2.3000	8,105,000	9,691,229	2027/06/20			
	97 20年国債	2.2000	6,840,000	8,100,817	2027/09/20			
	99 20年国債	2.1000	2,800,000	3,284,708	2027/12/20			
	101 20年国債	2.4000	4,960,000	6,002,096	2028/03/20			
	102 20年国債	2.4000	8,520,000	10,316,697	2028/06/20			
	106 20年国債	2.2000	5,540,000	6,574,872	2028/09/20			
	107 20年国債	2.1000	2,600,000	3,053,466	2028/12/20			
	110 20年国債	2.1000	4,800,000	5,636,448	2029/03/20			
	111 20年国債	2.2000	3,650,000	4,332,367	2029/06/20			
	1 30年国債	2.8000	7,850,000	9,964,476	2029/09/20			
	115 20年国債	2.2000	3,000,000	3,559,650	2029/12/20			
	2 30年国債	2.4000	2,100,000	2,548,518	2030/02/20			
	合計 銘柄数		74銘柄					
							341,654,000	384,049,615

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2015年3月10日現在

項 目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
公 社 債	384,049,615	98.8
コール・ローン等、その他	4,637,936	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	388,687,551	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年3月10日現在

項 目	当期末
(A) 資 産	388,687,551,846円
コール・ローン等	1,294,076,790
公 社 債(評価額)	384,049,615,349
未 収 利 息	3,262,866,085
前 払 費 用	80,993,622
(B) 負 債	119,594,725
未 払 金	117,667,000
未 払 解 約 金	1,927,725
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	388,567,957,121
元 本	321,599,486,803
次 期 繰 越 損 益 金	66,968,470,318
(D) 受 益 権 総 口 数	321,599,486,803口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,082円

\*期首における元本額は271,058,114,615円、当期中における追加設定元本額は70,522,732,476円、同解約元本額は19,981,360,288円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日本国債ファンドVA（適格機関投資家専用）17,654,058円、安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）432,343,294円、6資産バランスファンド（分配型）527,999,523円、6資産バランスファンド（成長型）245,507,699円、ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）315,037,733,445円、世界6資産均等分散ファンド（毎月分配型）196,854,386円、ダイワ・株／債券／コモディティ・バランスファンド87,901,192円、ダイワ日本国債ファンド（年1回決算型）4,763,280,922円、ダイワ・ニッポン応援ファンドVol.4－日本の真価－（国債コース）290,212,284円です。

\*当期末の計算口数当たりの純資産額は12,082円です。

## ■損益の状況

当期 自2014年3月11日 至2015年3月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	8,195,247,292円
受 取 利 息	8,195,247,292
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,048,596,551
売 買 益	2,214,581,670
売 買 損	△ 4,263,178,221
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	6,146,650,741
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	50,776,746,933
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 4,033,796,059
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	14,078,868,703
(G) 合 計(C+D+E+F)	66,968,470,318
次 期 繰 越 損 益 金(G)	66,968,470,318

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

## 運用報告書 第20期（決算日 2015年3月16日）

(計算期間 2014年9月17日～2015年3月16日)

ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンドの第20期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。以下同じ。）および店頭登録（登録予定を含みます。以下同じ。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券（以下総称して「不動産投資信託証券」といいます。）
運用方法	<p>①海外の金融商品取引所上場および店頭登録の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして分散投資を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の方針に従って行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 個別銘柄の投資価値を分析して、銘柄ごとの配当利回り、期待される成長性、相対的な割安度などを勘案し投資銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 組入れる銘柄の業種および国・地域配分の分散を考慮します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、コーヘン&amp;スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④不動産投資信託証券の組入比率は、通常の状態で信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行いません。</p>
投資信託証券組入制限	無制限

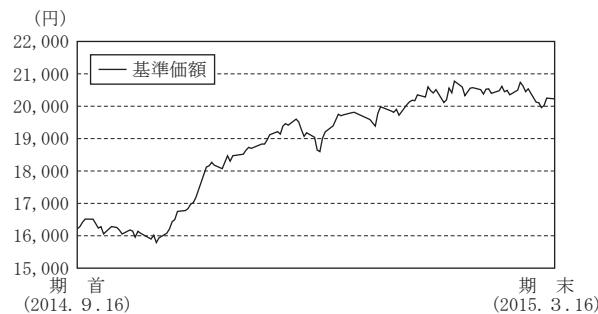
**大和投資信託**

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額	S & P 先進国REIT指数 (除く日本、円換算) (参考指標)		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	%	
(期首) 2014年 9月 16日	16,216	—	16,933	97.4
9月末	16,270	0.3	17,021	97.9
10月末	17,185	6.0	18,077	97.8
11月末	19,119	17.9	20,075	97.8
12月末	19,814	22.2	21,015	97.3
2015年 1月末	20,512	26.5	21,855	98.0
2月末	20,353	25.5	21,157	97.8
(期末) 2015年 3月 16日	20,227	24.7	21,170	98.5

(注1) 謙落率は期首比。

(注2) S & P 先進国REIT指数（除く日本、円換算）は、S & P 先進国REIT指数（除く日本、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 先進国REIT指数（除く日本、米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指數の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指數は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・謙落率】

期首：16,216円 期末：20,227円 謙落率：24.7%

#### 【基準価額の主な変動要因】

欧洲を中心に海外リート市況が上昇したことに加えて、為替相場で米ドルなどに対して円安に振れたことがプラスに寄与し、当期の基準価額は大幅に値上がりしました。

### ◆投資環境について

#### ○海外リート市況

海外リート市況は上昇しました。期首から2014年9月下旬にかけて、米国の量的金融緩和策の終了が近づく中、米国の堅調な経済指標を受けて利上げ開始時期やその後の利上げペースに対する投資家の警戒が強まったため、海外リート市況は下落して始まりました。しかしその後は、米国経済には今後予想される利上げの影響を吸収するだけの力強さがあるとの見方が広まり市況が上昇に転じると、10月末の日銀の追加金融緩和を受けてECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和に対する期待も強まつたうえ、世界的に長期国債利回りが低下したことが支援材料となり、市場は力強く上昇しました。2015年2月から期末にかけては、米国の利上げ時期が近づいているとの見方を背景に長期国債利回りが上昇に転じたことがマイナス要

因となり、市況は上昇幅を縮小しました。

市場別では、各国・地域とも大きく上昇しましたが、ECBが2015年1月に国債買い入れを含む量的金融緩和策の導入を発表したことことが好感され、フランスなどユーロ圏の上昇率が大きくなりました。一方、中国経済の減速に対する懸念から香港やシンガポールは小幅の上昇にとどまりました。

### ○為替相場

為替相場では米ドル独歩高の展開となりました。米ドルは量的金融緩和策の終了や将来の利上げ観測の強まりを背景に買われました。米ドル円は、日銀の追加金融緩和も円売り米ドル買い要因となり、円安米ドル高が進みました。ユーロ円は、デフレ回避のためECBが国債購入策を含む量的金融緩和の導入を2015年1月に発表したことがユーロ売り要因となり、2015年1月以降に円高ユーロ安に大きく振れました。その他の通貨では、将来的な利上げ観測が根強い英ポンドは買われて小幅の円安英ポンド高となりましたが、RBA（オーストラリア中央銀行）が利下げを実施したオーストラリア・ドルは売られて小幅の円高オーストラリア・ドル安に振れました。

### ◆前期における「今後の運用方針」

世界のリート市場は中長期的に魅力的であると考えており、高位の組入比率を維持する方針です。また、安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、コーヘン＆スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク（以下、C & S）に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

### ◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当ファンドでは、信託財産の中長期的な成長をめざし保有不動産の価値などと比べて魅力的であると考える銘柄に着目するとともに、安定的な配当利回りの確保をめざしてポートフォリオを構築しました。

国・地域別配分では大きなリスクを取らず各地域にバランス良く投資を行なっていませんが、ECBによる追加金融緩和と景気持直しへの期待から、割安感のあるイタリアのオフィスリートやベルギーの産業施設リートを新たに組入れたほかフランスの商業施設リートなどを買い増し、ユーロ圏の組入比率を引上げました。一方、リート価格の相対的な魅力度の観点から米国の大手商業施設リートやオーストラリアのオフィスリートを一部売却し、米国やオーストラリアの組入比率を引下げました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指標の謙落率は、それぞれ24.7%、25.0%となりました。

## 《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

銘柄選択に際しては、良好な財務体質を有し、低コストでの資金調達により物件取得や事業拡大を図ることが可能であり、かつ保有不動産の価値と比較して価格が割安なリートを選好します。用途別では、米国では住宅施設やオフィスを保有するリート、欧州ではロンドンのオフィスや商業施設に加えてユーロ圏の商業施設、パリなど主要都市のオフィスを保有するリートに注目しています。

# ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

## ■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (投資信託証券)	13円 (13)
有価証券取引税 (投資信託証券)	3 ( 3)
その他費用 (保管費用) (その他)	3 ( 3) ( 0)
合計	19

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## ■ 売買および取引の状況

### 投資信託証券

(2014年9月17日から2015年3月16日まで)

国	外	買付		売付		
		口数	金額	口数	金額	
国	外	千口 アメリカ (△ 562,607)	千アメリカ・ドル 9,428,052 ( 210)	千口 アメリカ・ドル 12,765,042 ( 一)	千アメリカ・ドル 418,110 ( 一)	
		千口 カナダ ( 一)	千カナダ・ドル — ( 一)	千口 カナダ・ドル 334.7 ( 一)	千カナダ・ドル 15,354 ( 一)	
		千口 オーストラリア (△ 33,872,31)	千オーストラリア・ドル 38,198,652 ( 33,773)	千口 オーストラリア・ドル 19,322,494 ( 一)	千オーストラリア・ドル 79,011 ( 一)	
		千口 香港 ( 一)	千香港ドル 5,536 ( 一)	千香港ドル 42,331 ( 一)	千香港ドル 5,234 ( 一)	
千口 （ユーロ通貨計） ( 334,421)						
千口 （ユーロ通貨計） ( 334,421)						

## ■ 主要な売買銘柄

### 投資信託証券

(2014年9月17日から2015年3月16日まで)

銘柄	平均単価	当期		
		買付	売付	付
EQUITY RESIDENTIAL (アメリカ)	千円 691,649	千円 5,844,348	円 8,449	千円 DEXUS PROPERTY GROUP (オーストラリア)
HEALTH CARE REIT INC (アメリカ)	528,445	3,796,495	7,184	4,412,071 PROLOGIS INC (アメリカ)
WERELDHAVE NV (オランダ)	319,199	2,571,562	8,056	4,044,819 SIMON PROPERTY GROUP INC (アメリカ)
LAND SECURITIES GROUP PLC (イギリス)	979,004	2,206,251	2,253	3,603,074 UNIBAIL-RODAMCO SE (フランス)
FONCIERE DES REGIONS (フランス)	198,719	2,186,768	11,004	3,204,907 ESSEX PROPERTY TRUST INC (アメリカ)
DDR CORP (アメリカ)	981,888	2,164,392	2,204	3,054,665 VENTAS INC (アメリカ)
WP GLIMCHER INC (アメリカ)	873,134	1,744,275	1,997	2,913,846 UDR INC (アメリカ)
BIOMED REALTY TRUST INC (アメリカ)	652,41	1,580,102	2,421	2,666,641 KIMCO REALTY CORP (アメリカ)
INGENIA COMMUNITIES GROUP (オーストラリア)	34,121,153	1,450,631	42	2,435,179 PUBLIC STORAGE (アメリカ)
PENN REAL ESTATE INVEST TST (アメリカ)	617,035	1,450,298	2,350	2,377,438 SUNTEC REIT (シンガポール)
				21,222 13,192,425 2,217,283 168

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

外	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
シンガポール	千口 ( 43,384,831)	千シンガポール・ドル 56,223 ( △ 17)	千口 ( 15,559,805)	千シンガポール・ドル 28,972 ( 一)
イギリス	千口 ( 3,300,399)	千イギリス・ポンド 27,041 ( 一)	千口 ( 3,829,533)	千イギリス・ポンド 29,950 ( 一)
ユーロ (オランダ)	千口 ( △ 541,287)	千ユーロ 780,51 ( 2,777)	千ユーロ 0,01 ( 一)	千ユーロ 0 ( 一)
ユーロ (ペルギー)	千口 ( 100,947)	千ユーロ 5,653 ( 一)	千ユーロ — ( 一)	千ユーロ — ( 一)
ユーロ (フランス)	千口 ( 395,766)	千ユーロ 24,899 ( △ 0)	千口 ( 310,408)	千ユーロ 37,400 ( 一)
ユーロ (ドイツ)	千口 ( 178,496)	千ユーロ 2,033 ( 一)	千口 ( 250,31)	千ユーロ 3,069 ( 一)
ユーロ (イタリア)	千口 ( 10,768,296)	千ユーロ 6,844 ( 一)	千口 — ( 一)	千ユーロ — ( 一)
ユーロ (ユーロ通貨計)	千口 ( 12,224,015)	千ユーロ 60,815 ( 2,777)	千口 ( 560,728)	千ユーロ 40,470 ( 一)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末				
	口数	評価額		比	率
		外貨建金額	邦貨換算金額		
<b>不動産ファンド (アメリカ)</b>	千口	千アメリカ・ドル	千円	%	
SIMON PROPERTY GROUP INC	195,315	35,934	4,362,394	2.5	
BIMED REALTY TRUST INC	652,41	14,085	1,709,983	1.0	
APARTMENT INVT & MGMT CO -A	788,578	30,265	3,674,246	2.1	
VORNADO REALTY TRUST	301,12	31,846	3,866,159	2.2	
EQUITY RESIDENTIAL	1,024,11	78,876	9,575,661	5.5	
HOST HOTELS & RESORTS INC	496,009	10,316	1,252,482	0.7	
AMERICAN HOMES 4 RENT- A	674,794	11,046	1,341,030	0.8	
PHYSICIANS REALTY TRUST	422,28	6,992	848,944	0.5	
CYRUSONE INC	406,53	12,330	1,496,868	0.9	
HEALTHCARE TRUST OF AME-CL A	410,033	11,107	1,348,486	0.8	
WP GLIMCHER INC	873,134	14,450	1,754,274	1.0	
AMERICAN ASSETS TRUST INC	360,588	15,123	1,835,939	1.0	
PARAMOUNT GROUP INC	1,196	22	2,735	0.0	
REXFORD INDUSTRIAL REALTY IN	478,9	7,638	927,308	0.5	
SUN COMMUNITIES INC	164,875	11,148	1,353,470	0.8	
PROLOGIS INC	166,377	7,062	857,412	0.5	
BRANDYWINE REALTY TRUST	910,495	13,830	1,679,012	1.0	
DDR CORP	782,823	14,419	1,750,539	1.0	
FIRST INDUSTRIAL REALTY TR	346,899	7,215	875,961	0.5	
HEALTH CARE REIT INC	379,113	28,441	3,452,744	2.0	
HOME PROPERTIES INC	222,203	14,843	1,801,959	1.0	
KILROY REALTY CORP	303,176	22,410	2,720,667	1.6	
MACERICH CO/THE	215,919	20,380	2,474,204	1.4	
CORPORATE OFFICE PROPERTIES	501,164	14,684	1,782,650	1.0	
PENN REAL ESTATE INVEST TST	632,715	14,191	1,722,884	1.0	
PS BUSINESS PARKS INC/CA	133,042	10,498	1,274,498	0.7	
REGENCY CENTERS CORP	450,979	29,462	3,576,742	2.0	
SL GREEN REALTY CORP	288,173	36,719	4,457,687	2.5	
WEINGARTEN REALTY INVESTORS	405,363	14,236	1,728,292	1.0	
STRATEGIC HOTELS & RESORTS I	663,868	8,132	987,271	0.6	
CUBESMART	951,798	22,329	2,710,762	1.5	
SUNSTONE HOTEL INVESTORS INC	1,161,62	19,131	2,322,610	1.3	
EXTRA SPACE STORAGE INC	506,171	32,739	3,974,531	2.3	
EDUCATION REALTY TRUST INC	301,672	10,537	1,279,240	0.7	
DIAMONDROCK HOSPITALITY CO	1,533,116	22,000	2,670,826	1.5	
DOUGLAS EMMETT INC	546,991	15,381	1,867,300	1.1	
RETAIL PROPERTIES OF AME - A	879,092	13,801	1,675,531	1.0	
<b>アメリカ・ドル</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 47.3%</b>
<b>(カナダ)</b>	<b>千口</b>	<b>千カナダ・ドル</b>	<b>千円</b>	<b>%</b>	
ALLIED PROPERTIES REAL ESTAT	451,217	17,092	1,619,989	0.9	
<b>カナダ・ドル</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 0.9%</b>
<b>(オーストラリア)</b>	<b>千口</b>	<b>千オーストラリア・ドル</b>	<b>千円</b>	<b>%</b>	
SCENTRE GROUP	8,531,811	33,359	3,089,745	1.8	
NOVION PROPERTY GROUP	21,487,233	56,511	5,234,087	3.0	
DEXUS PROPERTY GROUP	1,159,77	8,907	824,969	0.5	
WESTFIELD CORP	8,719,634	85,190	7,890,374	4.5	
GOODMAN GROUP	7,476,572	45,906	4,251,827	2.4	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	34,121,153	13,477	1,248,318	0.7	
<b>オーストラリア・ドル</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 12.9%</b>
<b>(香港)</b>	<b>千口</b>	<b>千香港・ドル</b>	<b>千円</b>	<b>%</b>	
FORTUNE REIT	14,784,07	122,707	1,917,922	1.1	
LINK REIT	5,244,42	248,323	3,881,292	2.2	
CHAMPION REIT	21,010,376	78,999	1,234,754	0.7	
<b>香港・ドル</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 4.0%</b>

ファンド名	当期末				
	口数	評価額		比	率
		外貨建金額	邦貨換算金額		
<b>(シンガポール)</b>	千口	千シンガポール・ドル	千円	%	
KEPPEL DC REIT	15,344,971	15,882	1,385,390	0.8	
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	12,648	31,493	2,747,179	1.6	
SUNTEC REIT	2,512,13	4,647	405,396	0.2	
KEPPEL REIT	19,011,064	23,098	2,014,877	1.1	
CDL HOSPITALITY TRUSTS	4,859	8,357	729,022	0.4	
FRASERS CENTREPOINT TRUST	11,287,8	23,027	2,008,654	1.1	
<b>シンガポール・ドル</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 5.3%</b>
<b>(イギリス)</b>	<b>千口</b>	<b>千イギリス・ポンド</b>	<b>千円</b>	<b>%</b>	
LAND SECURITIES GROUP PLC	4,202,021	51,264	9,183,037	5.2	
SEGRO PLC	2,104,512	8,876	1,590,106	0.9	
HAMMERSON PLC	5,718,154	37,482	6,714,240	3.8	
DERWENT LONDON PLC	627,258	21,383	3,830,377	2.2	
BIG YELLOW GROUP PLC	2,431,914	14,956	2,679,116	1.5	
<b>イギリス・ポンド</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 13.7%</b>
<b>ユーロ(オランダ)</b>	<b>千口</b>	<b>千ユーロ</b>	<b>千円</b>	<b>%</b>	
WERELDHAVE NV	430,061	27,442	3,496,409	2.0	
NSI NV	2,802,876	12,004	1,529,521	0.9	
<b>国小計</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 2.9%</b>
<b>ユーロ(ベルギー)</b>	<b>千口</b>	<b>千ユーロ</b>	<b>千円</b>	<b>%</b>	
WAREHOUSES DE PAUW SCA	100,947	7,135	909,190	0.5	
<b>国小計</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 0.5%</b>
<b>ユーロ(フランス)</b>	<b>千口</b>	<b>千ユーロ</b>	<b>千円</b>	<b>%</b>	
UNIBAIL-RODAMCO SE	126,556	32,265	4,110,941	2.3	
FONCIERE DES REGIONS-RTS	181,84	225	28,728	0.0	
GECINA SA	158,349	19,271	2,455,327	1.4	
KLEPIERRE	1,376,775	60,853	7,753,338	4.4	
FONCIERE DES REGIONS	166,23	14,910	1,899,788	1.1	
<b>国小計</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 9.3%</b>
<b>ユーロ(ドイツ)</b>	<b>千口</b>	<b>千ユーロ</b>	<b>千円</b>	<b>%</b>	
ALSTRIA OFFICE REIT-AG	813,063	10,212	1,301,120	0.7	
<b>国小計</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 0.7%</b>
<b>ユーロ(スペイン)</b>	<b>千口</b>	<b>千ユーロ</b>	<b>千円</b>	<b>%</b>	
LAR ESPANA REAL ESTATE SOCIMI	588,33	5,848	745,093	0.4	
<b>国小計</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 0.4%</b>
<b>ユーロ(イタリア)</b>	<b>千口</b>	<b>千ユーロ</b>	<b>千円</b>	<b>%</b>	
BENI STABILI SPA	10,768,296	7,968	1,015,271	0.6	
<b>国小計</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 0.6%</b>
<b>ユーロ(通貨計)</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 14.4%</b>
<b>合計</b>	<b>口数、金額 通貨計</b>	<b>外貨建金額 銘柄数(比率)</b>	<b>邦貨換算金額 銘柄数(比率)</b>	<b>%</b>	<b>&lt; 98.5%</b>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

## ■投資信託財産の構成

2015年3月16日現在

項 目	当期末	
	評価額	比率
投 資 信 託 証 券	千円	%
コール・ローン等、その他	5,315,159	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	178,033,893	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨資産は、期末の時価を対顧客直物電信買賣相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので。なお、3月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=121.40円、1カナダ・ドル=94.78円、1オーストラリア・ドル=92.62円、1香港ドル=15.63円、1シンガポール・ドル=87.23円、1ニュージーランド・ドル=89.07円、1イギリス・ポンド=179.13円、1ユーロ=127.41円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(174,389,761千円)の投資信託財産総額(178,033,893千円)に対する比率は、98.0%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年3月16日現在

項 目	当期末
(A) 資 産	178,869,683,586円
コール・ローン等	4,155,268,122
投 資 信 託 証 券(評価額)	172,718,734,398
未 収 入 金	1,722,254,762
未 収 配 当 金	273,426,304
(B) 負 債	3,475,839,682
未 払 金	3,198,339,682
未 払 解 約 金	277,500,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	175,393,843,904
元 本	86,713,865,485
次 期 繰 越 損 益 金	88,679,978,419
(D) 受 益 権 総 口 数	86,713,865,485口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,227円

\*期首における元本額は98,709,229,364円、当期中ににおける追加設定元本額は413,482,662円、同解約元本額は12,408,846,541円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルR E I T・オープン(毎月分配型)78,978,320,467円、ダイワ・バランス3資産(外債・海外リート・好配当日本株)61,293,463円、安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)36,051,708円、インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)39,148,974円、成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)179,393,001円、6資産バランスファンド(分配型)313,070,088円、6資産バランスファンド(成長型)595,223,606円、ダイワ三資産分散ファンド(インカム&キャッシュ・外債、内外リート)(隔月分配型)31,606,851円、りそなワールド・リート・ファンド3,588,976,891円、世界6資産均等分散ファンド(毎月分配型)117,171,896円、『しがぎん』S R I 3資産バランス・オープン(奇数月分配型)9,035,372円、常陽3分法ファンド543,441,876円、ダイワ資産インカムオープン(奇数月決算型)118,280,264円、ダイワ・海外株式&R E I Tファンド(毎月分配型)37,112,246円、スマート・インカム・バランス167,563円、D C ダイワ・ワールドアセット(六つの羽/安定コース)166,067,434円、D C ダイワ・ワールドアセット(六つの羽/6分散コース)224,562,546円、D C ダイワ・ワールドアセット(六つの羽/成長コース)235,424,023円、ダイワ・グローバルR E I Tファンド(ダイワSMA専用)435,672,867円、ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(分配型)951,827,901円、ダイワ外国3資産バランス・ファンド(部分為替ヘッジあり)21,560,443円、ダイワ外国3資産バランス・ファンド(為替ヘッジなし)30,456,005円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は20,227円です。

## ■損益の状況

当期 自2014年9月17日 至2015年3月16日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,598,517,586円
受 取 配 当 金	2,597,822,660
受 取 利 息	694,926
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	35,031,770,853
売 買 益	39,072,826,614
売 買 損	△ 4,041,055,761
(C) そ の 他 費 用	△ 31,775,649
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	37,598,512,790
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	61,361,837,750
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 10,645,247,459
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	364,875,338
(H) 合 計(D+E+F+G)	88,679,978,419
次 期 繰 越 損 益 金(H)	88,679,978,419

(注1) 解約差損益とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ダイワJ－REITアクティブ・マザーファンド

## 運用報告書 第19期（決算日 2015年5月11日）

(計算期間 2014年11月11日～2015年5月11日)

ダイワJ－REITアクティブ・マザーファンドの第19期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。以下同じ。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「不動産投資信託証券」といいます。）
運用方法	<p>①わが国の金融商品取引所上場の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の方針に従って行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 個別銘柄の投資価値を分析して、銘柄ごとの配当利回り、期待される成長性、相対的な割安度などを勘案し投資銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 個別銘柄の組入不動産の種類等を考慮します。</p> <p>③不動産投資信託証券の組入比率は、通常の状態で信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p>
投資信託証券組入制限	無制限

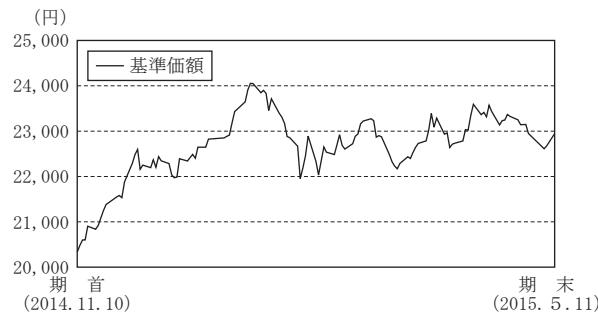
**大和投資信託**

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基 準 価 額	東証REIT指数(配当込み)		投資信託組入比率
		騰落率 (参考指數)	騰落率	
(期首)2014年11月10日	円 20,332	% —	% 2,921.37	97.6
11月末	21,878	7.6	3,139.72	97.5
12月末	22,824	12.3	3,273.60	98.1
2015年1月末	22,857	12.4	3,260.64	97.5
2月末	23,223	14.2	3,306.03	97.2
3月末	22,962	12.9	3,241.62	97.5
4月末	23,148	13.9	3,267.36	97.7
(期末)2015年5月11日	22,945	12.9	3,247.69	97.2

(注) 謄落率は期首比。

## 《運用経過》

## ◆基準価額等の推移について

## 【基準価額・謄落率】

期首：20,332円 期末：22,945円 謄落率：12.9%

## 【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が続いたことに加えて、オフィス・ビル空室率の低下などファンダメンタルズの改善傾向を背景としてJリート市況が堅調に推移したため、基準価額は値上がりしました。

## ◆投資環境について

## ○Jリート（不動産投信）市況

Jリート市況は、2014年10月末の日銀による予想外の追加金融緩和を背景に、上昇基調の中で始まりました。その後も、オフィス・ビル空室率の低下や実物不動産取引の活発化などJリートを取り巻くファンダメンタルズの改善傾向や、長期金利が低位な水準で安定的に推移したことなどを背景に、堅調に推移しました。2015年に入ると、日銀が追加緩和に関して慎重な姿勢を示したことなどをきっかけに長期金利が反転上昇したことなどを加えて、2015年の年明け以降に相次いだJリート各社によるエクイティ・ファイナンス（新株発行などを伴う資金調達）が需給面での重しとなったこともあって軟調に推移しましたが、期末にかけて徐々に落ち着きを取り戻しました。

## ◆前期における「今後の運用方針」

## ・投資信託証券組入比率

投資信託証券組入比率につきましては基本的に90%程度以上の水準を維持する方針です。

## ・ポートフォリオ

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつJリートに幅広く分散投資を行ない、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行なっています。ポートフォリオ戦略については、個別銘柄ごとのバリュエーション格差が徐々に縮小していることに鑑み、各種バリュエーション指標での割安度よりも、経営戦略や業績の変化等を重視した銘柄選別を行なっていく方針です。また、バリュエーション面での割安感は薄れつつあるものの、相対的に景気敏感なオフィス・セクターや、訪日観光客の増加などテーマ性のあるホテル・セクターにも注目してまいります。

## ◆ポートフォリオについて

投資信託証券の組入比率につきましては、通常の状態で信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、期を通じておおむね95～98%台程度で推移させました。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して44～48銘柄程度に投資しました。個別銘柄では森トラスト総合リート、インベスコ・オフィス・ジェイリート、日本プライムリアルティ、インヴィンシブルなどを東証REIT指数と比較してオーバーウエートとし、野村不動産オフィスファンド、日本ビルファンド、アドバンス・レジデンス等をアンダーウエートとしました。

## ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドは、参考指標として東証REIT指数（配当込み）を用いています。当期における東証REIT指数（配当込み）の謄落率は11.2%となりました。一方、当ファンドの謄落率は12.9%となりました。投資口価格のパフォーマンスが東証REIT指数（配当込み）を上回った星野リゾート・リート、森トラスト総合リート、インヴィンシブルなどをオーバーウエートとしていたことや、投資口価格のパフォーマンスが東証REIT指数（配当込み）を下回ったGLPなどのアンダーウエートが、プラスに寄与しました。他方、投資口価格のパフォーマンスが東証REIT指数（配当込み）を上回った野村不動産オフィスファンドや日本リテールファンドをアンダーウエートとしたことなどが、マイナス要因となりました。

## 《今後の運用方針》

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつJリートに幅広く分散投資を行ない、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行なっています。現状の個別銘柄ごとのバリュエーション格差は過去と比較して大きないと判断していることから、ポートフォリオ戦略については、各種バリュエーション指標での割安度よりも、経営戦略や業績の変化等を重視した銘柄選別を行なっていく方針です。また、バリュエーション面での割安感は薄れつつあるものの、相対的に景気敏感なオフィス・セクターや、訪日観光客の増加などテーマ性のあるホテル・セクターにも引き続き注目しています。

## ■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (投資信託証券)	10円 (10)
有価証券取引税	—
その他費用	—
合計	10

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## ■ 主要な売買銘柄

## 投資信託証券

(2014年11月11日から2015年5月11日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘	柄	口数	金額	平均単価	銘	柄	口数	金額	平均単価
プレミア投資法人		千口	千円	円	グローバル・ワン不動産投資法人		千口	千円	円
G L P 投資法人		2.5	1,525,540	610,216			2	899,635	449,817
トップリート投資法人		11.8	1,458,184	123,574	イオンリート投資		4	695,260	173,815
インベスコ・オフィス・Jリート		2.6	1,313,974	505,374	森トラスト総合リート		2.1	525,880	250,419
イオンリート投資		9.71	1,084,363	111,674	星野リゾート・リート		0.191	286,955	1,502,383
積水ハウス・リート投資		6	955,362	159,227	日本リート投資法人		0.43	157,199	365,581
ケネディクス商業リート		7	935,000	133,571	積水ハウス・S I レジデンシャル投資法人		1	142,701	142,701
ジャパン・ホテル・リート投資法人		3.2	853,493	266,716	ヘルスケア&メディカル投資		0.8	133,760	167,201
A P I 投資法人		10	834,399	83,439	産業ファンド		0.2	117,000	585,000
M I D リート投資法人		0.8	832,854	1,041,067	トップリート投資法人		0.2	92,529	462,645
		2.26	785,191	347,429	S I A 不動産投資		0.2	87,518	437,590

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■ 組入資産明細表

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
不動産投信	千口	千円	%
日本アコモデーションファンド投資法人	2.7	1,278,450	1.8
M I D リート投資法人	3.4	1,212,100	1.7
森ビルリース	12	1,996,800	2.9
野村不レジデンシャル	0.3	203,700	0.3
産業ファンド	2.8	1,624,000	2.3
大和ハウスリート	2	1,080,000	1.6
アドバンス・レジデンス	4.5	1,318,950	1.9
ケネディクスレジデンシャル	3.5	1,228,500	1.8
A P I 投資法人	2	2,166,000	3.1
G L P 投資法人	20	2,458,000	3.5
コンフォリア・レジデンシャル	3	791,700	1.1
日本プロジスリート	8	2,005,600	2.9
N M F 投資法人	8	1,220,000	1.8
星野リゾート・リート	0.609	881,223	1.3
イオンリート投資	6	971,400	1.4

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
ヒューリックリート投資法	6	1,133,400	1.6
日本リート投資法人	1.7	557,600	0.8
インベスコ・オフィス・Jリート	17.71	1,879,031	2.7
積水ハウス・リート投資	7	967,400	1.4
トーセイ・リート投資法人	6	802,800	1.2
ケネディクス商業リート	3.2	966,400	1.4
ヘルスケア&メディカル投資	2.7	443,340	0.6
日本ビルファンド	6.6	3,788,400	5.4
ジャパンリアルエステイト	7.5	4,185,000	6.0
日本リテールファンド	11	2,822,600	4.1
オリックス不動産投資	13	2,281,500	3.3
日本プライムリアルティ	7	2,964,500	4.3
プレミア投資法人	2.4	1,560,000	2.2
東急リアル・エステート	4	635,600	0.9
グローバル・ワン不動産投資法人	1	414,000	0.6

# ダイワJ-REITアクティヴ・マザーファンド

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
野村不動産オフィスF	千口	千円	%
ユナイテッド・アーバン投資法人	1.5	822,000	1.2
森トラスト総合リート	12	2,263,200	3.2
インヴィンシブル投資法人	9.9	2,338,380	3.4
フロンティア不動産投資	30	1,851,000	2.7
平和不動産リート	2	1,180,000	1.7
日本ロジスティクスファンド投資法人	1	96,300	0.1
福岡リート投資法人	5.5	1,440,450	2.1
ケネディクス・オフィス投資法人	3	651,600	0.9
積水ハウス・S.I レジデンシャル投資法人	3	1,908,000	2.7
いちご不動産投資法人	7	416,100	0.6
大和証券オフィス投資法人	2.6	636,300	0.9
阪急リート投資法人	2.6	1,606,800	2.3
トップリート投資法人	1.5	230,250	0.3
大和ハウス・レジデンシャル投資法人	2.7	1,387,800	2.0
ジャパン・ホテル・リート投資法人	32	555,200	0.8
日本賃貸住宅投資法人	11	2,681,600	3.8
ジャパンエクセルent投資法人	6	887,700	1.3
合計	口数 銘柄 数	金額 銘柄 数	元本 比率
	311,319	67,733,274	<97.2%>

※日本アコモデーションファンド、森ヒルズリート、産業ファンド、大和ハウスリート、ケネディクスレジデンシャル、APPI投資法人、GLP投資法人、コンフォリア・レジデンシャル、日本プロロジスリート、イオンリート投資、ヒューリックリート投資法人、日本リート投資法人、積水ハウス・リート投資、トーセイ・リート投資、ケネディクス商業リート、日本ビルファンド、ジャパンリアルエステイト、日本リテールファンド、オリックス不動産投資、日本ブライムリアルティ、プレミア投資法人、グローバル・ワン不動産投資法人、ユナイテッド・アーバン投資法人、平和不動産リート、ケネディクス・オフィス投資法人、積水ハウス・S.I レジデンシャル投資法人、いちご不動産投資法人、大和証券オフィス投資法人、阪急リート投資法人、ジャパン・ホテル・リート投資法人、日本賃貸住宅投資法人につきましては、各ファンドで開示されている直近の有価証券報告書または有価証券届出書において、当社の利害関係人等（投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている法人等をいいます。）である大和証券、大和リアル・エステート・アセット・マネジメントが該当ファンドの一般事務受託会社となっています。

(注1) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2015年5月11日現在

項目	当期末		
	評価額	比率	率
投資信託証券	千円		%
コール・ローン等、その他	67,733,274		96.2
投資信託財産総額	2,664,157		3.8
投資信託財産総額	70,397,431		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年5月11日現在

項目	当期末
(A) 資産	70,397,431,588円
コール・ローン等	2,099,927,683
投資信託証券(評価額)	67,733,274,000
未収入金	89,849,505
未収配当金	474,380,400
(B) 負債	742,782,296
未払本金	731,808,296
未払解約金	10,974,000
(C) 純資産総額(A-B)	69,654,649,292
元本	30,357,414,771
次期繰越損益金	39,297,234,521
(D) 受益権総口数	30,357,414,771口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,945円

\*期首における元本額は23,315,529,699円、当期中ににおける追加設定元本額は8,181,973,971円、同解約元本額は1,140,088,899円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、安定重視ボートフォリオ（奇数月分配型）31,346,216円、インカム重視ボートフォリオ（奇数月分配型）33,438,907円、成長重視ボートフォリオ（奇数月分配型）153,707,093円、6資産バランスファンド（分配型）272,222,635円、6資産バランスファンド（成長型）518,036,032円、ダイワ三資産分散ファンド（インカム＆キャッシュ、外債、内需リート）（隔月分配型）27,888,605円、世界6資産均等分散ファンド（毎月分配型）98,678,242円、『しがぎん』SRI三資産バランス・オーブン（奇数月分配型）3,726,909円、ダイワ資産分散インカムオーブン（奇数月決算型）99,978,115円、成果リレー（ブラジル国債&J-REIT）2014-07 210,662,879円、成果リレー（ブラジル国債&J-REIT）2014-08 154,530,866円、DCダイワ・ワールドアセット（六つの羽／安定コース）148,252,964円、DCダイワ・ワールドアセット（六つの羽／6分散コース）200,987,593円、DCダイワ・ワールドアセット（六つの羽／成長コース）211,991,519円、DCダイワJ-REITアセットファンド372,164,443円、ダイワファンドラップ J-REITセレクト26,680,965,159円、ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（成長型）210,996,407円、ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（安定型）57,445,086円、ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（分配型）340,747,375円、ダイワJリート・ファンド529,647,726円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は22,945円です。

## ■損益の状況

当期 自2014年11月11日 至2015年5月11日

項目	当期
(A) 配当等収益	919,280,312円
受取配当金	918,840,124
受取利息	440,167
その他の収益金	21
(B) 有価証券売買損益	5,349,917,441
売買益	5,607,242,194
売買損	△ 257,324,753
(C) 当期損益金(A+B)	6,269,197,753
(D) 前期繰越損益金	24,088,570,840
(E) 解約差損益金	△ 1,431,372,101
(F) 追加信託差損益金	10,370,838,029
(G) 合計(C+D+E+F)	39,297,234,521
次期繰越損益金(G)	39,297,234,521

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド

## 運用報告書 第19期（決算日 2015年9月7日）

(計算期間 2015年3月7日～2015年9月7日)

ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンドの第19期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）
運用方法	<p>①主として海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式の中から、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資することにより、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 持続可能なより良い社会への企業の取組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄を選定します。（外部調査機関による、企業の社会的責任に関する調査等を参考にします。）</p> <p>□. 株価水準、流動性、分散等を考慮し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態で信託財産の純資産総額の80%程度以上とすることを基本とします。</p> <p>④保有外貨建資産について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。なお、保有外貨建資産の売買代金、償還金、利金等の受取りまたは支払いにかかる為替予約等を行なうことができるものとします。</p>
株式組入制限	無制限

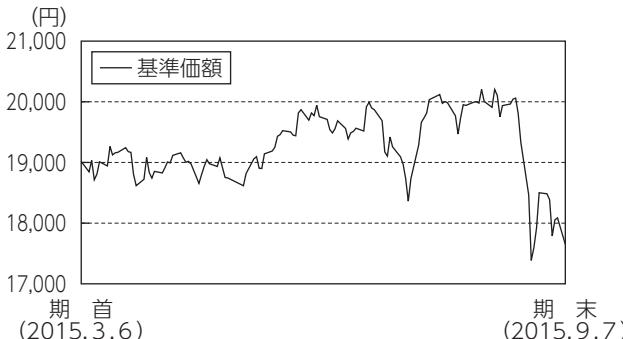
**大和投資信託**

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

# ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド

## ■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額	MSCIコクサイ指数 (円換算)		株組比	式入率	株先比	式物率
		騰落率	参考指値				
(期首)2015年3月6日	19,015	-	14,216	-	97.3	-	-
3月末	19,083	0.4	14,143	△0.5	96.9	-	-
4月末	18,753	△1.4	14,269	0.4	97.1	-	-
5月末	19,870	4.5	14,821	4.3	95.5	-	-
6月末	19,174	0.8	14,216	△0.0	97.4	-	-
7月末	19,940	4.9	14,604	2.7	97.6	-	-
8月末	18,483	△2.8	13,414	△5.6	97.4	-	-
(期末)2015年9月7日	17,651	△7.2	12,706	△10.6	96.6	-	-

(注1) 謄落率は期首比。

(注2) MSCIコクサイ指数(円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIコクサイ指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：19,015円 期末：17,651円 謄落率：△7.2%

#### 【基準価額の主な変動要因】

海外の株式に投資した結果、基準価額は低下がりました。株式部分と為替部分がともにマイナス要因となりました。

### ◆投資環境について

#### ○海外株式市況

海外株式市況は、米国の早期利上げ観測と米ドル高による米国企業業績に対する警戒感などから、下落してのスタートとなりました。その後は、欧洲の景気回復に対する期待感やECB(欧洲中央銀行)の国債購入開始、米国の早期利上げ懸念の後退、世界的な企業買収や事業再編など、世界的に良好な投資環境を背景に上昇基調に転じました。中国における香港・上海間の相互株式取引などを追い風に香港市場が上昇したこと、海外株式市場を下支えする要因になりました。しかし2015年6月に入ると、ギリシャの債務問題の行方をめぐり値動きの荒い展開となり、7月上旬にかけてギリシャ

のデフォルト(債務不履行)リスクが高まつたことから大きく下落しました。その後はギリシャ問題がひとまず落ち着いたことや好調な米国企業決算などから急速に値を戻したもの、米国の9月利上げに対する警戒感が高まる中で中国が人民元の切下げを発表したことや中国株の急落などを受けてリスク回避の動きが一気に高まり大幅下落の中、期末を迎きました。

#### ○為替相場

為替相場は、ユーロ円はECBによる量的緩和策の導入からユーロ安基調で始まりました。2015年4月中旬以降は、欧洲国債利回りの反発からユーロ高に転じました。ギリシャ問題をめぐる混乱から乱高下する場面もありましたが、ユーロ高円安で期末を迎きました。一方、米ドルは対円で横ばい推移でのスタートとなりました。2015年4月以降は、堅調な米国景気を背景に米国の利上げ観測が高まり、日本との金利差が拡大するとの思惑から米ドル高基調に転じました。その後は、米国債利回りが低下基調に転じたこと、世界的な株価急落でリスク回避の動きが強まつたことなどから急速に米ドルが売られる展開となり、期末を迎ました。

### ◆前期における「今後の運用方針」

海外株式の中から、持続可能なより良い社会への企業の取組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資します。

米国は堅調な景気拡大が継続しており、欧州は中央銀行による量的金融緩和策や対米ドルでの通貨安期待など株式市場にとって良好な投資環境が持続すると考えております。企業業績や株価バリュエーション等を精査しつつ、個別銘柄の選別投資を行なう方針です。

### ◆ポートフォリオについて

株式組入比率は、米国の堅調な景気や欧州の量的金融緩和策導入による投資環境の好転と景気回復期待などから、おおむね90%程度以上の高位を維持しました。個別銘柄では、業績見通しや株価バリュエーション等を総合的に勘案して、CVS HEALTH CORP、MANPOWERGROUP INC、UNITEDHEALTH GRP、MOHAWK INDUS(すべて米国)などを上位組入れとしました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標の基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指値の謄落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

## 《今後の運用方針》

海外株式の中から、持続可能なより良い社会への企業の取組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資します。

株式市場は短期的に、中国の成長に対する懸念、新興国通貨の下落、軟調な商品市況など不安要素をめぐり値動きの荒い展開が予想されます。しかし、米国は堅調な景気拡大が継続していること、欧州経済に対する回復期待の高まり、日欧の中央銀行による量的金融緩和策を通じた通貨安期待などプラス要因に対する見方に変化はなく、中長期的には株式市場にとって良好な投資環境が持続すると考えております。企業業績や株価バリュエーション等を精査しつつ、個別銘柄の選別投資を行なう方針です。

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	36円 (36)
有価証券取引税 (株式)	17 (17)
その他費用 (保管費用) (その他)	18 (18) (0)
合計	71

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## ■売買および取引の状況

## 株式

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外	アメリカ	百株 1,426 ( 6)	千アメリカ・ドル 8,218 ( —)	百株 1,539	千アメリカ・ドル 9,472
		百株 440 ( —)	千香港ドル 1,947 ( —)	百株 440	千香港ドル 1,766
	イギリス	百株 2,500 ( —)	千イギリス・ポンド 1,401 ( —)	百株 3,025	千イギリス・ポンド 1,351
		百株 35 ( —)	千スイス・フラン 332 ( —)	百株 —	千スイス・フラン —
	デンマーク	百株 45 ( —)	千デンマーク・クローネ 2,500 ( —)	百株 —	千デンマーク・クローネ —

## ■主要な売買銘柄

## 株式

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

買 銘	柄	株 数	金 額	平均単価	当期			
					銘	柄	株 数	金 額
TOTAL SA (フランス)		千株 10	千円 63,700	円 6,370	INVESTCO LTD (パミューダ)		千株 16	千円 75,699
PROVIDENT FINANCIAL PLC (イギリス)		9	49,605	5,511	BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG (ドイツ)		5	75,043
PEUGEOT SA (フランス)		22	47,813	2,173	LEGAL & GENERAL GROUP PLC (イギリス)		135	67,654
BANK OF AMERICA CORP (アメリカ)		23	47,698	2,073	NVIDIA CORP (アメリカ)		26	66,697
TRACTOR SUPPLY COMPANY (アメリカ)		4	44,735	11,183	WALT DISNEY CO/THE (アメリカ)		5	65,677
SAFRAN SA (フランス)		5	44,049	8,809	INFINEON TECHNOLOGIES AG (ドイツ)		45	61,678
UNILEVER NV-CVA (オランダ)		8	43,934	5,491	NOKIA OYJ (フィンランド)		72	60,949
NOVARTIS AG-REG (スイス)		3.5	42,592	12,169	TOTAL SA (フランス)		10	57,923
ESSILOR INTERNATIONAL (フランス)		2.7	41,192	15,256	3M CO (アメリカ)		3	57,681
ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS (イギリス)		12	40,086	3,340	ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD (リベリア)		6.5	56,812

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

# ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド

## ■組入資産明細表

### 外国株式

銘柄	期首	当期末			業種等
		株数	株数	評価額	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)					
FIRST SOLAR INC	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
DARDEN RESTAURANTS INC	—	25	117	13,972	情報技術
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	50	46	316	37,672	一般消費財・サービス
DR HORTON INC	10	—	—	—	素材
APPLE INC	—	80	243	28,948	一般消費財・サービス
C.H. ROBINSON WORLDWIDE INC	50	25	273	32,526	情報技術
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	—	20	135	16,122	資本財・サービス
BROWN-FORMAN CORP-CLASS B	—	70	269	32,081	金融
CORNING INC	—	25	238	28,341	生活必需品
AVAGO TECHNOLOGIES LTD	80	—	—	—	情報技術
WYNDHAM WORLDWIDE CORP	—	10	121	14,425	情報技術
NIELSEN HOLDINGS PLC	30	—	—	—	一般消費財・サービス
HCA HOLDINGS INC	—	20	89	10,706	資本財・サービス
AMAZON.COM INC	—	25	213	25,424	ヘルスケア
AKAMAI TECHNOLOGIES INC	—	3	149	17,824	一般消費財・サービス
F5 NETWORKS INC	70	20	145	17,284	情報技術
GENERAL MOTORS CO	25	30	356	42,450	情報技術
GOOGLE INC-CL C	80	—	—	—	一般消費財・サービス
HAIN CELESTIAL GROUP INC	—	4	240	28,610	情報技術
JUNIPER NETWORKS INC	—	36	209	24,977	生活必需品
LAM RESEARCH CORP	—	70	175	20,887	情報技術
3M CO	26	—	—	—	情報技術
FACEBOOK INC-A	30	—	—	—	資本財・サービス
MANPOWERGROUP INC	—	26	229	27,323	情報技術
MARTIN MARIETTA MATERIALS	30	60	515	61,397	資本財・サービス
MASCO CORP	—	15	249	29,730	素材
FIREEYE INC	—	40	104	12,492	資本財・サービス
NEWELL RUBBERMAID INC	—	12	43	5,212	情報技術
CONOCOPHILLIPS	—	30	125	14,906	一般消費財・サービス
INVESCO LTD	20	—	—	—	エネルギー
ADVANCE AUTO PARTS INC	160	—	—	—	金融
ROBERT HALF INTL INC	—	11	189	22,545	一般消費財・サービス
STANLEY BLACK & DECKER INC	50	—	—	—	資本財・サービス
UNION PACIFIC CORP	—	20	195	23,287	資本財・サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	40	—	—	—	資本財・サービス
ULTA SALON COSMETICS & FRAGR	63	43	483	57,528	ヘルスケア
WALT DISNEY CO/THE	20	15	236	28,166	一般消費財・サービス
WELLS FARGO & CO	75	40	205	24,428	金融
TRACTOR SUPPLY COMPANY	—	40	332	39,621	一般消費財・サービス
TJX COMPANIES INC	—	37	261	31,173	一般消費財・サービス
ALLERGAN PLC	8	13	381	45,468	ヘルスケア
VISA INC-CLASS A SHARES	—	18	124	14,822	情報技術
PPG INDUSTRIES INC	18	—	—	—	素材
NVIDIA CORP	300	70	152	18,128	情報技術
NETFLIX INC	—	9	88	10,586	一般消費財・サービス
BANK OF AMERICA CORP	—	230	359	42,859	金融
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	65	—	—	—	一般消費財・サービス
COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	65	65	401	47,791	情報技術
FEDEX CORP	20	—	—	—	資本財・サービス
HARTFORD FINANCIAL SVCS GRP	—	45	201	23,961	金融

銘柄	期首	当期末			業種等	
		株数	株数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額			
CINTAS CORP	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
MICROSOFT CORP	—	30	45	251	29,916	資本財・サービス
CVS HEALTH CORP	100	—	59	191	22,831	情報技術
MICRON TECHNOLOGY INC	80	—	—	590	70,335	生活必需品
HASBRO INC	—	25	25	188	22,435	情報技術
KANSAS CITY SOUTHERN	—	—	20	225	26,891	一般消費財・サービス
STARBUCKS CORP	—	—	20	108	12,926	一般消費財・サービス
MOHAWK INDUSTRIES INC	37	23	454	454	54,087	一般消費財・サービス
アメリカ・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数×比率	1,682	1,575	10,188	1,213,114	
		29銘柄	43銘柄		<59.1%>	
(イギリス)	百株	百株	千イギリス・ポンド	千円		
TUI AG-DI	170	—	—	—	—	一般消費財・サービス
BARCLAYS PLC	—	680	170	170	30,862	金融
RELEX PLC	100	—	—	—	—	一般消費財・サービス
KINGFISHER PLC	—	300	104	104	18,971	一般消費財・サービス
WOLSELEY PLC	—	30	125	125	22,618	資本財・サービス
HAYS PLC	—	500	78	78	14,181	資本財・サービス
LEGAL & GENERAL GROUP PLC	1,350	—	—	—	—	金融
PROVIDENT FINANCIAL PLC	—	85	247	247	44,850	金融
EASYJET PLC	120	—	—	—	—	資本財・サービス
MAN GROUP PLC	550	—	—	—	—	金融
ITV PLC	700	750	182	182	33,007	一般消費財・サービス
ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	—	120	192	192	34,839	エネルギー
イギリス・ポンド 通貨計	株数、金額 銘柄数×比率	2,990	2,465	1,101	199,332	
		6銘柄	7銘柄		< 9.7%>	
(スイス)	百株	百株	千スイス・フラン	千円		
NOVARTIS AG-REG	—	35	323	323	39,680	ヘルスケア
スイス・フラン 通貨計	株数、金額 銘柄数×比率	—	—	35	39,680	
		—	1銘柄	—	< 1.9%>	
(デンマーク)	百株	百株	千デンマーク・クローネ	千円		
NOVO NORDISK A/S-B	—	25	912	912	16,251	ヘルスケア
PANDORA A/S	—	20	1,530	1,530	27,264	一般消費財・サービス
デンマーク・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数×比率	—	45	2,442	43,516	
		—	2銘柄		< 2.1%>	
(スウェーデン)	百株	百株	千スウェーデン・クローネ	千円		
SKF AB-B SHARES	150	—	—	—	—	資本財・サービス
ELECTROLUX AB-SER B	50	—	—	—	—	一般消費財・サービス
HENNES & MAURITZ AB-B SHS	50	—	—	—	—	一般消費財・サービス
ASSA ABLOY AB-B	90	170	2,687	2,687	37,950	資本財・サービス
スウェーデン・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数×比率	340	170	2,687	37,950	
		4銘柄	1銘柄		< 1.9%>	
ユーロ (アイルランド)	百株	百株	千ユーロ	千円		
CRH PLC	140	100	253	253	33,668	素材
国 小 計	株数、金額 銘柄数×比率	140	100	253	33,668	
		1銘柄	1銘柄		< 1.6%>	
ユーロ (オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円		
KONINKLIJKE AHOOLD NV	—	60	103	103	13,774	生活必需品
国 小 計	株数、金額 銘柄数×比率	—	60	103	13,774	
		—	1銘柄		< 0.7%>	

銘柄	期首	当期末			業種等
		株数	株数	評価額	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ（ベルギー） KBC GROEP NV	百株 60	百株 53	千ユーロ 303	千円 40,325	金融
国小計 銘柄数 <sup>比率</sup>	60 1銘柄	53 1銘柄	303 <2.0%>	40,325 <2.0%>	
ユーロ（フランス） PEUGEOT SA SOCIETE GENERALE SA ACCOR SA CAP GEMINI ESSILOR INTERNATIONAL AXA SA DASSAULT SYSTEMES SA SAFRAN SA	百株 — — 40 — — 200 —	百株 150 40 — 32 27 130 32	千ユーロ 224 166 — 245 290 282 191	千円 29,898 22,136 — 32,610 38,576 37,554 25,496 44,305	一般消費財・サービス 金融 一般消費財・サービス 情報技術 ヘルスケア 金融 情報技術 資本財・サービス
国小計 銘柄数 <sup>比率</sup>	240 2銘柄	461 7銘柄	1,734 <11.2%>	230,578 <11.2%>	
ユーロ（ドイツ） BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG OSRAM LICHT AG FRESENIUS MEDICAL CARE AG & INFINEON TECHNOLOGIES AG DUERR AG	百株 50 — 50 450 35	百株 — 40 25 — —	千ユーロ — 188 170 — —	千円 — 25,016 22,714 — —	一般消費財・サービス 資本財・サービス ヘルスケア 情報技術 資本財・サービス
国小計 銘柄数 <sup>比率</sup>	585 4銘柄	65 2銘柄	358 <2.3%>	47,731 <2.3%>	
ユーロ（スペイン） ENAGAS SA	百株 50	百株 —	千ユーロ —	千円 —	公益事業
国小計 銘柄数 <sup>比率</sup>	50 1銘柄	— —	— —	— —	
ユーロ（イタリア） INTESA SANPAOLO ATLANTIA SPA	百株 1,200 —	百株 1,200 100	千ユーロ 376 240	千円 50,103 31,939	金融 資本財・サービス
国小計 銘柄数 <sup>比率</sup>	1,200 1銘柄	1,300 2銘柄	617 <4.0%>	82,042 <4.0%>	
ユーロ（フィンランド） NOKIA OYJ	百株 720	百株 —	千ユーロ —	千円 —	情報技術
国小計 銘柄数 <sup>比率</sup>	720 1銘柄	— —	— —	— —	
ユーロ通貨計	株数、金額 銘柄数 <sup>比率</sup>	2,995 11銘柄	2,039 14銘柄	3,370 <21.8%>	448,119
ファンド合計	株数、金額 銘柄数 <sup>比率</sup>	8,007 50銘柄	6,329 68銘柄	— <96.6%>	1,981,713

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものであります。

(注2) <>は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2015年9月7日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 1,981,713	% 95.7
コール・ローン等、その他	89,525	4.3
投資信託財産総額	2,071,238	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨貸資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものであります。なお、9月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=119.07円、1カナダ・ドル=89.67円、1オーストラリア・ドル=82.55円、1香港ドル=15.36円、1イギリス・ポンド=180.89円、1スイス・フラン=122.63円、1デンマーク・クローネ=17.82円、1ノルウェー・クローネ=14.36円、1スウェーデン・クローネ=14.12円、1ユーロ=132.97円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（2,045,314千円）の投資信託財産総額（2,071,238千円）に対する比率は、98.7%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月7日現在

項目	当期末
(A) 資産	2,071,238,501円
コール・ローン等	75,990,656
株式(評価額)	1,981,713,013
未収入金	11,588,584
未収配当金	1,946,248
(B) 負債	19,962,794
未払金	19,962,794
(C) 純資産総額(A-B)	2,051,275,707
元本	1,162,111,809
次期繰越損益金	889,163,898
(D) 受益権総口数	1,162,111,809口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,651円

\*期首における元本額は1,277,508,368円、当期中における追加設定元本額は51,336,265円、同解約元本額は166,732,824円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、6資産バランスファンド（分配型）301,719,082円、6資産バランスファンド（成長型）756,269,271円、世界6資産均等分散ファンド（毎月分配型）104,123,456円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は17,651円です。

# ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド

## ■損益の状況

当期 自2015年3月7日 至2015年9月7日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	22,806,070円
受取配当金	22,789,831
受取利息	16,239
(B) 有価証券売買損益	△ 176,547,703
売買益	63,049,086
売買損	△ 239,596,789
(C) その他費用	△ 2,151,248
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 155,892,881
(E) 前期繰越損益金	1,151,660,220
(F) 解約差損益金	△ 154,267,176
(G) 追加信託差損益金	47,663,735
(H) 合計(D + E + F + G)	889,163,898
次期繰越損益金(H)	889,163,898

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド

## 運用報告書 第19期（決算日 2015年9月7日）

(計算期間 2015年3月7日～2015年9月7日)

ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンドの第19期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

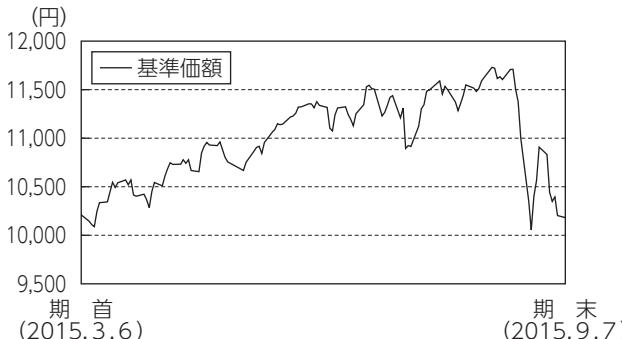
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。以下同じ。）
運用方法	<p>①主としてわが国の金融商品取引所上場株式の中から、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資することにより、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 持続可能なより良い社会への企業の取組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄を選定します。（外部調査機関による、企業の社会的責任に関する調査等を参考にします。）</p> <p>ロ. 株価水準、流動性、分散等を考慮し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態で信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。</p>
株式組入制限	無制限

**大和投資信託**

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		T O P I X		株組比率	式入率	株先比	式物率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)				
(期首)2015年3月6日	10,210	-	1,540.84	-	97.1	-	-	-
3月末	10,366	1.5	1,543.11	0.1	95.9	-	-	-
4月末	10,802	5.8	1,592.79	3.4	95.2	-	-	-
5月末	11,322	10.9	1,673.65	8.6	94.5	-	-	-
6月末	11,266	10.3	1,630.40	5.8	94.9	-	-	-
7月末	11,549	13.1	1,659.52	7.7	96.1	-	-	-
8月末	10,833	6.1	1,537.05	△0.2	96.2	-	-	-
(期末)2015年9月7日	10,182	△ 0.3	1,445.65	△6.2	95.9	-	-	-

(注1) 謄落率は期首比。

(注2) 株式先物比率は賃建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：10,210円 期末：10,182円 謄落率：△0.3%

#### 【基準価額の主な変動要因】

国内株式市況が、ギリシャのデフォルト（債務不履行）懸念や中国経済への不安の高まりなどを背景に下落し、基準価額は値下がりました。

### ◆投資環境について

#### ○国内株式市況

国内株式市況は、期首より、E C B（欧州中央銀行）による量的金融緩和の導入や国内景気の持ち直し、良好な株式需給関係、円安の進行などを受けて、株価は大きく上昇しました。2015年6月からは、ギリシャ支援協議の難航によりギリシャのデフォルト懸念が一時高まったことや中国株の急落を受け中国経済への不安が高まつたこと、さらには世界経済減速懸念も台頭したことから日本株も一時急落するなど、不安定な推移となりました。

### ◆前期における「今後の運用方針」

国内株式市況は、国内外の金融緩和や円安進行、安倍政権の政策、国内企業の業績回復、株主還元強化期待などが引き続き株価の押し上げ要因になるとと考えており、株式組入比率は90%程度以上の高位を維持する方針です。銘柄の選定にあたっては、日本総研が行なう企業の「社会的責任」に関する調査を参考に、持続可能なより良い社会への企業の取り組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄を選定します。

### ◆ポートフォリオについて

- ・株式組入比率は、円安・原油安を背景にした内需関連企業の業績の回復期待などから、期を通して95%以上で推移させました。
- ・業種構成は、情報・通信業、小売業、建設業などの比率を引上げた一方で、化学、電気機器、輸送用機器などの比率を引下げました。
- ・個別銘柄では、業績見通しや株価指標などを総合的に勘案して日本電信電話、セブン＆アイ・H L D G S、日立物流などを新規に組入れました。一方、日産自動車、三菱ケミカルH L D G S、東京瓦斯などを全部売却しました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標の基準となるベンチマークを設けておりません。

参考指数（TOPIX）の謄落率は△6.2%となりました。一方、当ファンドの謄落率は△0.3%となりました。TOPIXの謄落率を上回った建設業や情報・通信業をオーバーウエートとしていたことなどがプラス要因となつた一方、TOPIXの謄落率を下回った電気機器をオーバーウエートとしていたことなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、アルプス電気やS C S Kなどがプラスに寄与しましたが、マツダや東洋インキS Cホールディングスなどがマイナス要因となりました。

## 《今後の運用方針》

国内株式市況は、不透明な海外情勢に起因して当面は不安定な推移が想定されますが、円安や原油安を背景とした内需関連企業の業績成長や、株主還元策の強化期待などが株価の下支え要因になるとと考えおり、株式組入比率は90%程度以上の高位を維持する方針です。銘柄の選定にあたっては、日本総研が行なう企業の「社会的責任」に関する調査を参考に、持続可能なより良い社会への企業の取り組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄を選定します。

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	3円 (3)
有価証券取引税	—
その他費用	—
合計	3

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## ■主要な売買銘柄

## 株式

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

当					期				
買付					売付				
銘柄	株数	金額	平均単価		銘柄	株数	金額	平均単価	
日本電信電話	千株 18	千円 86,801	円 4,822		日産自動車	千株 60	千円 71,980	円 1,199	
セブン＆アイ・HLDGS	12.5	67,600	5,408		ソニー	19.5	68,719	3,524	
日立物流	25	51,132	2,045		三菱UFJフィナンシャルG	85	68,200	802	
千葉銀行	50	50,965	1,019		三菱ケミカルHLDGS	90	65,929	732	
住友化学	75	50,695	675		三菱商事	24	61,499	2,562	
マツダ	19	48,491	2,552		トプコン	20	57,597	2,879	
リクルートホールディングス	12	46,639	3,886		富士電機	100	55,625	556	
サトーホールディングス	14	43,664	3,118		アルプス電気	17	54,690	3,217	
ソニー	12.5	42,142	3,371		東京瓦斯	80	54,117	676	
野村ホールディングス	50	41,177	823		王子ホールディングス	100	53,146	531	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■売買および取引の状況

## 株式

(2015年3月7日から2015年9月7日まで)

	買付		売付	
	株数	金額	株数	金額
国内	千株 962.5 ( 15 )	千円 1,107,293 —	千株 1,264.6	千円 1,526,205

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれてありません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

# ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド

## ■組入資産明細表

### 国内株式

銘柄	期首			当期末			銘柄	期首			当期末			銘柄	期首		
	株数	株数	評価額	株数	株数	評価額		株数	株数	評価額	株数	株数	評価額		株数	株数	評価額
<b>建設業 (10.4%)</b>							トプコン	千株	千株	千円				<b>サービス業 (2.1%)</b>	千株	千株	千円
安藤・間	—	15	11,070					20	—	—				楽天	20	—	—
大成建設	75	75	57,900				パンダイナムコHLDGS	15	8	21,736				リクルートホールディングス	—	12	41,760
西松建設	—	80	42,400				アシックス	7	14	46,830							
前田建設	29	—	—				岡村製作所	—	30	30,510							
大和ハウス	18	22	60,192				<b>電気・ガス業 (-)</b>										
積水ハウス	28	18	30,321				東京瓦斯	80	—	—							
<b>食料品 (0.7%)</b>							<b>陸運業 (4.8%)</b>										
ニチレイ	—	20	13,640				東京急行	11	—	—							
<b>織維製品 (0.5%)</b>							西日本旅客鉄道	9	3	23,169							
帝人	110	30	10,680				日本通運	—	40	23,080							
東レ	20	—	—				日立物流	—	25	47,350							
<b>パルプ・紙 (-)</b>							<b>海運業 (2.2%)</b>										
王子ホールディングス	100	—	—				日本郵船	140	140	42,140							
<b>化学 (8.1%)</b>							<b>空運業 (1.7%)</b>										
旭化成	36	—	—				ANAホールディングス	—	100	33,690							
住友化学	—	35	19,880				三菱総合研究所	3	—	—							
電気化学	100	100	47,500				ヤフー	—	75	35,100							
三菱ケミカルHLDGS	90	—	—				伊藤忠テクノソリューションズ	3	—	—							
積水化学	15	—	—				日本電信電話	—	18	81,846							
宇部興産	—	150	31,350				KDDI	6	18	53,073							
東洋インキSCホールディングス	90	—	—				NTTデータ	10.5	10.5	58,695							
富士フイルムHLDGS	10	10	46,905				SCSK	17	15.5	63,085							
日東電工	5.5	1.5	11,193				ソフトバンクグループ	4.5	—	—							
<b>医薬品 (2.4%)</b>							<b>卸売業 (3.8%)</b>										
中外製薬	11	11	46,585				伊藤忠商事	—	26	35,607							
<b>ガラス・土石製品 (-)</b>							三井物産	10	—	—							
東海カーボン	70	—	—				三菱商事	24	—	—							
<b>非鉄金属 (-)</b>							伊藤忠エネクス	40	40	37,440							
DOWAホールディングス	17	—	—				<b>小売業 (4.4%)</b>										
<b>機械 (3.0%)</b>							セブン&アイ・HLDGS	—	12.5	62,062							
ダイワフク	38	35	57,715				良品計画	—	1	24,070							
<b>電気機器 (14.0%)</b>							ファミリーマート	1	—	—							
ミネベア	22	—	—				ファーストリテイリング	0.3	—	—							
富士電機	100	—	—				<b>銀行業 (7.6%)</b>										
日本電産	8	5	45,185				三菱UFJフィナンシャルG	155	70	51,772							
ソニー	7	—	—				三井住友フィナンシャルG	9.1	9.1	41,873							
アルプラス電気	35	18	65,160				千葉銀行	—	50	41,950							
シスマックス	10	9.2	63,480				静岡銀行	10	10	12,650							
カシオ	28	27	58,644				スルガ銀行	12	—	—							
村田製作所	1	2.5	39,787				<b>証券、商品先物取引業 (1.8%)</b>										
<b>輸送用機器 (5.8%)</b>							野村ホールディングス	—	50	35,660							
デンソー	—	2.5	12,945				<b>保険業 (5.6%)</b>										
日産自動車	60	—	—				第一生命	25	25	50,550							
トヨタ自動車	13	6.5	46,078				東京海上HD	7.7	12.7	57,810							
マツダ	11	30	54,630				<b>不動産業 (-)</b>										
<b>精密機器 (0.8%)</b>							三井不動産	8	—	—							
島津製作所	10	10	16,280														

(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2015年9月7日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 1,943,030	% 94.3
コール・ローン等、その他	118,274	5.7
投資信託財産総額	2,061,305	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月7日現在

項目	当期末
(A) 資産	2,061,305,445円
コール・ローン等	72,592,528
株式(評価額)	1,943,030,550
未収入金	44,540,117
未収配当金	1,142,250
(B) 負債	34,470,702
未払金	34,470,702
(C) 純資産総額(A - B)	2,026,834,743
元本	1,990,551,420
次期繰越損益金	36,283,323
(D) 受益権総口数	1,990,551,420口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,182円

\*期首における元本額は2,381,977,094円、当期中ににおける追加設定元本額は59,690,382円、同解約元本額は451,116,056円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、6資産バランスファンド(分配型)521,625,890円、6資産バランスファンド(成長型)1,289,197,093円、世界6資産均等分散ファンド(毎月分配型)179,728,437円です。

\*当期末の計算口数当たりの純資産額は10,182円です。

## ■損益の状況

当期 自2015年3月7日 至2015年9月7日

項目	当期
(A) 配当等収益	21,169,521円
受取配当金	21,143,250
受取利息	25,422
その他収益金	849
(B) 有価証券売買損益	616,075
売買益	160,561,901
売買損	△159,945,826
(C) 当期損益金(A + B)	21,785,596
(D) 前期繰越損益金	50,072,053
(E) 解約差損益金	△ 42,883,944
(F) 追加信託差損益金	7,309,618
(G) 合計(C + D + E + F)	36,283,323
次期繰越損益金(G)	36,283,323

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。